

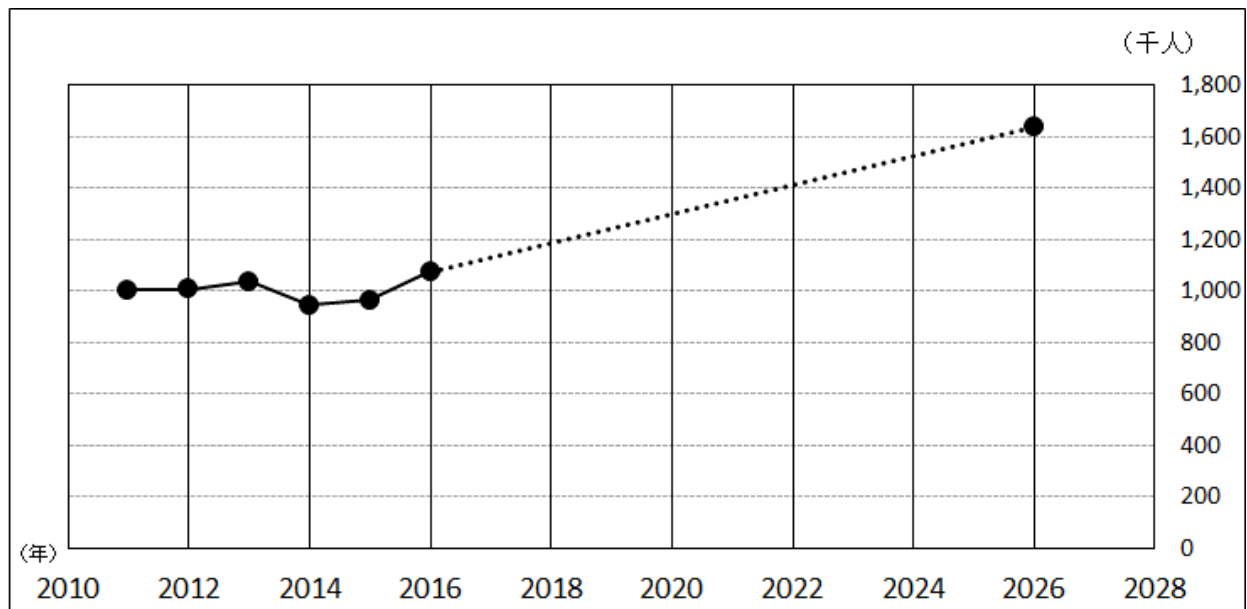
2 船舶乗降旅客数

(1) 船舶乗降旅客数の設定

大阪港における船舶乗降旅客数の過去5年間の推移及び設定値と設定の考え方は、次のとおりである。

表Ⅱ－２－１ 船舶乗降旅客数の設定値とその考え方

種類	実績						推計	備考
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2026	
外航客船 (外国籍船・日本籍船による外航クルーズ)	14	37	27	27	52	53	430	外航クルーズ需要の高まりを踏まえ、入港隻数の増加及び船型の大型化に伴う旅客数の増加を見込んだ値を目標として設定
内航客船 (日本籍船による内航クルーズ ＋クルーズ船以外の不定期内航客船)	8	16	14	6	5	8	14	日本籍船内航クルーズ船の寄港数は、過去3年の低水準からそれ以前の水準に回復すること、また湾周遊を含むクルーズ船以外による不定期内航客船の寄港数は需要が継続すると見込むことから、推計した値を目標として設定
外航フェリー	73	70	73	48	70	73	73	特異値である2014年を除けば、概ね70～73千人で推移しており、今後も現状程度で推移することを見込み、2016年の実績程度として設定
内航フェリー	907	884	921	863	835	942	1,124	2011年～2016年の期間中は、航路数の減少があったものの、乗降客数に大きな変動はないことから、2018年に現存する航路を対象に、この期間中の実績からトレンド推計にて設定
合計	1,001	1,007	1,035	944	962	1,075	1,640	



図Ⅱ－２－１ 船舶乗降旅客数の推計

Ⅲ. 港湾計画で定める機能別の計画に関する資料

1 公共埠頭計画

(1) 公共埠頭計画

①公共埠頭の現況

1) 公共埠頭の利用状況

公共埠頭の主要取扱貨物等の利用状況は、次のとおりである。

表Ⅲ－１－１ 埠頭別の利用状況

平成25年の状況												
地区 名	埠頭名	施設諸元			取扱貨物量（千 t）			主要取扱貨物	定期航路	備 考		
		水深 （m）	延長 （m）	バース 数			合計					
夢 洲 地 区	C10, 11, 12	15.0～ 16. 0	1, 100	3	輸出	2, 445	12, 459	再利用資材	外貿コンテナ定期航路 北米・地中海航路 1便／週 豪州航路 0. 93便／週 東南アジア航路 8便／週 中国航路 17. 5便／週 韓国航路 1便／週			
					輸入	9, 971		衣料・身廻品				
					移出	5		取合せ品				
					移入	38		取合せ品				
舞 洲 地 区	北港白津岸壁 （HS1～3）	12. 0	720	3	輸出	134	203	産業機械				
					輸入	67		野菜・果物				
					移出	0		産業機械				
					移入	2		産業機械				
	北港白津岸壁 （HS4～6）	7. 5	390	3	輸出	1	171	産業機械				
					輸入	－		－				
					移出	22		動植物性				
					移入	148		紙・パルプ				
南 港 地 区	C1～4	13. 5	1, 400	4	輸出	2, 568	12, 319	産業機械	外貿コンテナ定期航路 北米・地中海航路 0. 5便 豪州航路 0. 99便／週 東南アジア航路 7便／週 中国航路 6. 5便／週 韓国航路 6便／週			
					輸入	9, 711		衣料・身廻品				
					移出	37		取合せ品				
					移入	3		取合せ品				
	C8, 9	13. 0※ ～ 14. 0	700	2	輸出	1, 675	6, 171	再利用資材	外貿コンテナ定期航路 豪州航路 1. 08便／週 東南アジア航路 10. 5便／週 中国航路 9便／週 韓国航路 2便／週	※-14mの計画だが、 -13mで供用		
					輸入	4, 448		衣料・身廻品				
					移出	3		取合せ品				
					移入	45		取合せ品				
	国際フェリー岸壁	10. 0	450	2	輸出	425	1, 301	染料・塗料・合成樹脂・ その他化学工業品	外貿フェリー定期航路 中国航路 1. 5便／週 韓国航路 5便／週			
					輸入	876		衣料・身廻品				
					移出	－						
					移入	－						
	R岸壁 （R1～5）	10. 0～ 12. 0	1, 035	5	輸出	129	4, 093	鋼材	外貿コンテナ定期航路 豪州航路 0. 5便／週 外貿定期航路 ロシア航路1便／週 内貿フェリー航路 九州航路 7便／週			
					輸入	36		非鉄金属				
					移出	1, 880		完成自動車				
					移入	2, 047		完成自動車				
	L岸壁 （L1～7）	10. 0	1, 560	7	輸出	513	869	鋼材				
					輸入	324		鋼材				
					移出	14		鋼材				
					移入	19		鋼材				
	C6, 7	12. 0	600	2	輸出	211	663	その他輸送機械	外貿コンテナ定期航路 北米・地中海航路 1便／週			
					輸入	257		鋼材				
					移出	108		取合せ品				
移入					86	取合せ品						
A岸壁 （A1～8）	7. 5	1, 040	8	輸出	16	1, 637	金属くず	内貿フェリー定期航路 沖縄航路 0. 5便／週 内貿定期航路 沖縄航路 10便／週				
				輸入	－		－					
				移出	1, 209		取合せ品					
				移入	412		その他輸送機械					
B岸壁 （B1～4）	7. 5	550	4	輸出	－	591	－	内貿フェリー定期航路 沖縄航路 2. 5便／週				
				輸入	－		－					
				移出	412		完成自動車					
				移入	179		紙・パルプ					

平成25年の状況												
地区 名	埠頭名	施設諸元			取扱貨物量（千t）		主要取扱貨物	定期航路	備 考			
		水深 （m）	延長 （m）	バース 数		合計						
南 港 地 区	D岸壁 （D1～5）	5.5～ 7.5	580	5	輸出	1	138	鋼材				
					輸入	-		-				
					移出	11		鋼材				
					移入	126		鋼材				
	E岸壁 （E1～7）	5.5～ 7.5	821	7	輸出	85	125	金属くず				
					輸入	-		-				
					移出	-		-				
					移入	41		鋼材				
	F1～6	6.0～ 7.5	903	6	輸出	-	19,275	-	内貿フェリー定期航路 九州航路 14便／週 四国航路 7便／週			
					輸入	-		-				
					移出	9,282		完成自動車				
					移入	9,993		完成自動車				
	G岸壁 （G1～8）	5.5	720	8	輸出	31	371	金属くず	内貿定期航路 沖縄航路 4便／週			
					輸入	-		-				
					移出	340		金属製品				
					移入	-		-				
	I岸壁 （I1～8）	5.5	720	8	輸出	-	-	-				
					輸入	-		-				
					移出	0		産業機械				
					移入	-		-				
	J岸壁 （J1～3）	12.0	720	3	輸出	118	363	鋼材				
					輸入	112		製材				
					移出	-		-				
					移入	133		製材				
	K岸壁	10.0	370	2	輸出	13	71	鋼材				
					輸入	57		製材				
					移出	0		製材				
					移入	-		-				
F7,8	7.5～ 8.5	445	2	輸出	0	11,798	-	内貿フェリー定期航路 九州航路 14便／週				
				輸入	0		-					
				移出	5,302		完成自動車					
				移入	6,496		完成自動車					
此 花 地 区	常吉岸壁	5.5	360	4	輸出	-	452	-				
					輸入	-		-				
					移出	-		-				
					移入	452		砂利・砂				
	北港岸壁	7.5～ 10.0	284	2	輸出	48	66	金属くず				
					輸入	19		非金属鉱物				
					移出	-		-				
					移入	-		-				
	梅町西岸壁	10.0～ 12.0	792	6	輸出	63	793	金属くず				
					輸入	185		石油製品				
					移出	291		重油				
					移入	253		重油				
	梅町岸壁	10.0～ 10.5	395	3	輸出	56	1,082	コークス				
					輸入	752		石炭				
					移出	221		石炭				
					移入	54		コークス				
	桜島岸壁	10.0	535	3	輸出	292	345	鋼材				
					輸入	0		鋼材				
					移出	-		-				
					移入	53		非鉄金属				
港 地 区	中央突堤北岸壁	11.0	210	1	輸出	-	-	-				
					輸入	-		-				
					移出	-		-				
					移入	-		-				
	天保山岸壁	10.0	370	1	輸出	-	-	-				
					輸入	-		-				
					移出	-		-				
					移入	-		-				
	第1号岸壁	10.0	328	2	輸出	-	-	-				
					輸入	-		-				
					移出	-		-				
					移入	-		-				
	第2号岸壁	10.0	341	2	輸出	14	33	産業機械				
					輸入	19		砂糖				
					移出	-		-				
					移入	-		-				

平成25年の状況											
地区 名	埠頭名	施設諸元			取扱貨物量（千 t）		主要取扱貨物	定期航路	備 考		
		水深 （m）	延長 （m）	バース 数		合計					
港地区	第3号岸壁	7.5～ 10.0	315	2	輸出	53	54	鋼材			
					輸入	1		鋼材			
					移出	-		-			
					移入	-		-			
	第5号岸壁	9.0	394	3	輸出	21	959	鋼材			
					輸入	20		鋼材			
					移出	1		化学肥料			
					移入	916		セメント			
	第6号岸壁	10.0	359	2	輸出	2	17	金属くず			
					輸入	15		鋼材			
					移出	-		-			
					移入	-		-			
	第7号岸壁	10.0	361	3	輸出	2	21	鋼材			
					輸入	11		鋼材			
					移出	-		-			
					移入	8		鋼材			
	第8号岸壁	7.5	336	3	輸出	-	775	-			
					輸入	-		-			
					移出	1		非鉄金属			
					移入	775		セメント			
	安治川1号岸壁	10.0	320	2	輸出	4	92	砂糖			
					輸入	87		砂糖			
					移出	-		-			
					移入	-		-			
	サイロ岸壁	11.0	210	1	輸出	-	296	-			
					輸入	175		麦			
					移出	51		麦			
					移入	71		麦			
	安治川3号岸壁	10.0	178	1	輸出	-	-	-			
					輸入	-		-			
					移出	-		-			
					移入	-		-			
	安治川2号岸壁	10.0	360	2	輸出	20	54	鋼材			
					輸入	2		鉄鋼			
					移出	17		化学薬品			
					移入	15		非金属鉱物			
	安治川突堤岸壁	5.5～ 6.5	914	10	輸出	-	15	-			
					輸入	3		その他輸送機械			
					移出	0		金属製品			
					移入	12		紙・パルプ			
大正地区	第10号岸壁	5.5～ 9.0	617	5	輸出	-	366	-			
					輸入	3		金属製品			
					移出	-		-			
					移入	363		鋼材			
	第11号岸壁	5.5	270	3	輸出	-	74	-			
					輸入	17		鋼材			
					移出	54		鋼材			
					移入	3		鋼材			
	大正第1突堤 北岸壁	6.0	471	5	輸出	-	32	-			
					輸入	-		-			
					移出	9		鋼材			
					移入	23		非鉄金属			
	鶴浜岸壁	10.0	280	1	輸出	-	-	-			
					輸入	-		-			
					移出	-		-			
					移入	-		-			

国際フェリー岸壁								
水深(m)	-10	延長(m)	450			トン/m	2,892	
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)			
		計	出	入	計	出	入	
衣料・身用品・はきもの	439	439	2	437				
取合せ品	157	157	81	76				
染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	120	120	95	25				
ガラス類	102	102	87	15				
金属製品	79	79	9	70				
産業機械	67	67	46	21				
電気機械	56	56	36	20				
鋼材	24	24	5	19				
製材	24	24		24				
非鉄金属	21	21	10	12				
その他	212	212	56	156				
合計	1,301	1,301	425	876				

C8.9							
水深(m)	-13~-14	延長(m)	700		トン/m	8.816	
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
衣料・身用品・はきもの	879	878	28	850	0		0
染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	574	571	202	369	3	0	3
電気機械	507	507	86	420	0	0	
産業機械	472	471	216	255	1	1	0
家具装備品	322	322	23	299	0		0
再利用資材	241	241	238	3			
木製品	239	238	1	237	1		1
製造食品	220	218	24	194	2		2
鋼材	213	213	178	36			
製材	179	172	0	172	7		7
その他	2,326	2,291	679	1,612	35	2	32
合計	6,171	6,123	1,675	4,448	48	3	45

R岸壁(R1~5)							
水深(m)	-10~-12	延長(m)	1,035	トン/m	3,954		
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
完成自動車	3,830	36	36		3,794	1,805	1,989
取合せ品	119				119	73	45
鋼材	69	69	61	7			
産業機械	27	27	27	0			
非鉄金属	18	18	0	18			
その他輸送機械	18	3	3		15	2	13
紙・パルプ	7	7		7			
製材	4	4		4			
その他機械	1	1	1				
電気機械	1	1	1				
その他	1	1	1				
合計	4,093	165	129	36	3,928	1,880	2,047

L岸壁(L1～7)								
水深(m)	-10	延長(m)	1,560	トン/m	557			
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)			
		計	出	入	計	出	入	
鋼材	784	753	480	273	31	14	17	
非鉄金属	26	26	4	22	1		1	
産業機械	16	16	16					
米	16	16		16				
鉄鋼	8	7	7		1		1	
製材	4	4		4				
窯業品	4	4	0	4				
紙・パルプ	4	4	2	2				
金属製品	2	2	2	1				
非金属鉱物	1	1		1				
その他	3	3	3					
合計	869	837	513	324	32	14	19	

C1~4							
水深(m)	-13.5	延長(m)	1,400	トン/m	8,799		
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
衣料・身用品・はきもの	1,702	1,702	60	1,642	0	0	0
電気機械	1,700	1,699	165	1,533	1	1	
染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	1,170	1,169	386	784	1	1	
産業機械	999	997	411	586	1	1	
家具装備品	669	669	49	621	0	0	
製造食品	497	497	42	454	1	0	0
金属製品	370	369	68	301	1	1	
化学薬品	294	294	97	197	0	0	
再利用資材	288	288	274	14			
非鉄金属	279	279	95	184	0	0	
その他	4,350	4,315	920	3,395	35	32	3
合計	12,318	12,278	2,568	9,710	40	37	3

C6.7							
水深(m)	-12	延長(m)	600		トン/m	1,104	
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
鋼材	176	176	26	150			
取合せ品	119	3	3	0	115	65	50
紙・パルプ	59	59	3	56			
非鉄金属	49	15	2	13	35	1	34
その他輸送機械	36	36	36				
産業機械	36	36	36	0			
製材	24	24		24			
ゴム製品	24	24	24				
金属くず	22	1	1		21	21	
金属鉱	22				22	20	2
その他	94	94	80	14	0		0
合計	662	469	212	257	194	108	86

I岸壁(11~8)							
水深(m)	-5.5	延長(m)	720	トン/m	0		
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
産業機械	0				0	0	
合計	0				0	0	

図Ⅲ-1-1 公共埠頭取扱状況図(南港地区①:平成25年)

F7.8							
水深(m)	-7.5~-8.5	延長(m)	445			トン/m	26,512
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
完成自動車	11,751				11,751	5,290	6,461
取合せ品	31				31	11	20
飲料	8				8		8
野菜・果物	7				7		7
輸送用容器	1				1		1
その他	—						
合計	11,798				11,798	5,302	6,496

K岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	370			トン/m	191
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
製材	44	44		44	0		0
紙・パルプ	13	13		13			
鋼材	12	12	12				
産業機械	2	2	2				
その他	—						
合計	71	70	13	57	0		0

G岸壁(G1~8)							
水深(m)	-5.5	延長(m)	720			トン/m	515
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
金属製品	309				309		309
金属くず	31	31	31				
鋼材	29				29		29
取合せ品	3				3		3
その他	—						
合計	371	31	31		340		340

F1~6							
水深(m)	-6.0~-7.5	延長(m)	903			トン/m	21,345
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
完成自動車	18,732				18,732	9,006	9,725
取合せ品	543				543	275	268
その他	—						
合計	19,275				19,275	9,282	9,993

A岸壁(A1~8)							
水深(m)	-7.5	延長(m)	1,040			トン/m	1,574
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
取合せ品	683				683	625	58
完成自動車	321				321	204	116
その他輸送用車両	257				257	171	86
その他輸送機械	133				133	14	120
その他日用品	75				75	73	2
製造食品	39				39	36	3
非鉄金属	28				28	28	1
鋼材	18				18	18	1
金属製品	18				18	0	18
金属くず	18	16	16		1	1	
その他	45				45	38	7
合計	1,637	16	16		1,621	1,209	411

E岸壁(E1~7)							
水深(m)	-5.5~-7.5	延長(m)	821			トン/m	153
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
金属くず	85	85	85				
鋼材	41				41		41
その他	—						
合計	125	85	85		41		41

D岸壁(D1~5)							
水深(m)	-5.5~-7.5	延長(m)	580			トン/m	238
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
鋼材	123	1	1		122	9	113
染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	15				15	1	14
その他	—						
合計	138	1	1		137	11	126

J岸壁(J1~3)							
水深(m)	-12	延長(m)	720			トン/m	504
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
製材	218	86		86	132		132
鋼材	75	75	75				
産業機械	27	27	27				
非鉄金属	24	24	1	23			
完成自動車	12	12	12	0			
非金属鉱物	3	3		3			
金属製品	3	3	3				
水産品	1	0		0	1		1
その他	—						
合計	363	230	118	112	133		133

B岸壁(B1~4)							
水深(m)	-7.5	延長(m)	550			トン/m	1,075
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
完成自動車	205				205	146	59
取合せ品	127				127		127
紙・パルプ	100				100		100
その他輸送機械	98				98	93	5
その他輸送用車両	56				56	46	11
鋼材	4				4		4
その他	—						
合計	591				591	412	179

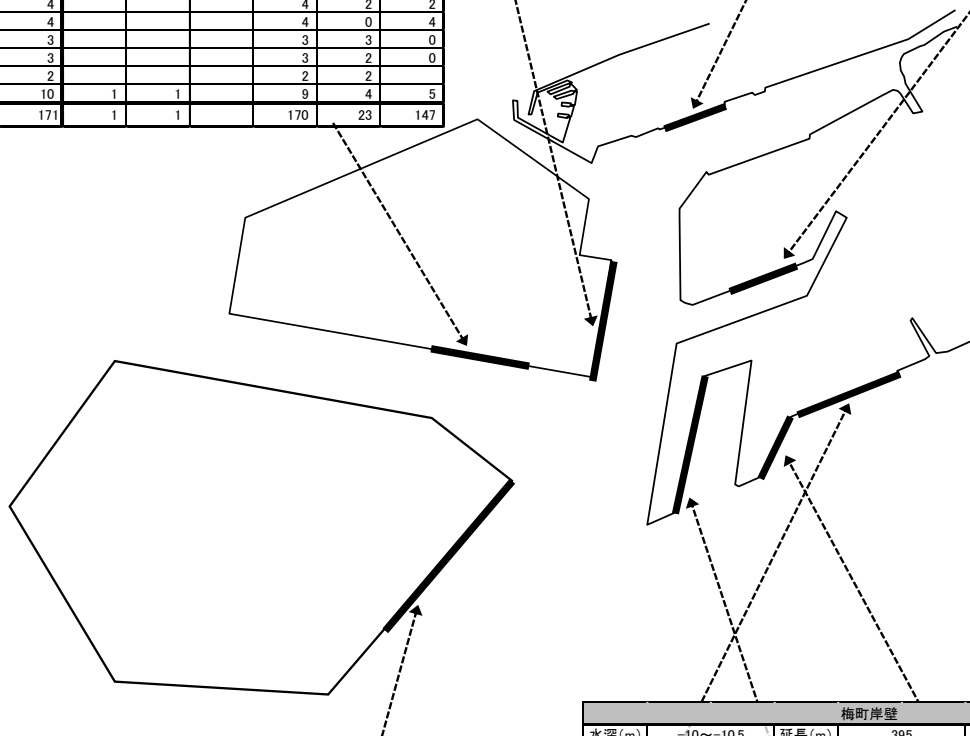
図Ⅲ-1-2 公共埠頭取扱状況図(南港地区②:平成25年)

北港白津岸壁(HS1-3)							
水深(m)	-12	延長(m)		720	トン/m		282
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
産業機械	86	83	83	0	2	0	2
野菜・果物	63	63		63			
鋼材	48	48	48				
完成自動車	4	4	2	3			
輸送用容器	1	1	0	1			
その他	1	1	1	0			
合計	203	201	134	67	2	0	2

北港白津岸壁(HS4-6)							
水深(m)	-7.5	延長(m)		390	トン/m		439
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
紙・パルプ	78				78	1	76
砂糖	29				29	1	29
製造食品	16				16	3	14
取合せ品	13				13	2	11
化学薬品	8				8	2	6
その他製造工業品	4				4	2	2
野菜・果物	4				4	0	4
動植物性製造飼肥料	3				3	3	0
金属製品	3				3	2	0
飲料	2				2	2	
その他	10	1	1		9	4	5
合計	171	1	1		170	23	147

常吉岸壁							
水深(m)	-5.5	延長(m)		360	トン/m		1,255
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
砂利・砂	452				452		452
その他	—						
合計	452				452		452

北港岸壁							
水深(m)	-7.5~-10	延長(m)		284	トン/m		234
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
金属くず	48	48	48				
非金属鉱物	14	14		14			
コークス	2	2		2			
石炭	1	1		1			
鋼材	1	1		1			
その他	0	0	0				
合計	66	66	48	19			



C10,11,12							
水深(m)	-15~-16	延長(m)		1,100	トン/m		11,326
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
衣料・身の用品・はきもの	2,042	2,042	18	2,024			
電気機械	1,754	1,754	172	1,582			
染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	844	844	220	623			
家具装備品	805	805	39	766			
産業機械	730	730	196	534			
再利用資材	629	629	621	8			
金属製品	473	473	55	418	0		0
製造食品	393	393	25	368			
鋼材	353	353	300	54			
木製品	304	304	5	299			
その他	4,132	4,089	795	3,294	43	5	38
合計	12,459	12,416	2,445	9,971	43	5	38

桜島岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)		535	トン/m		645
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
鋼材	123	113	112	0	10		10
鉄鋼	87	87	87				
完成自動車	66	66	66				
非鉄金属	43				43		43
産業機械	25	25	25				
自動車部品	1	1	1				
電気機械	1	1	1				
その他	0	0	0				
合計	345	292	292	0	53		53

梅町岸壁							
水深(m)	-10~-10.5	延長(m)		395	トン/m		2,741
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
石炭	567	392		392	175	167	8
金属鉱	102	97		97	5	3	2
コークス	95	62	56		5	33	2
原塩	60	43		43	17	15	2
窯業品	59	59		59			
非金属鉱物	54	17		17	37	33	4
化学薬品	53	53		53	0	0	
鉄鋼	49	49		49			
鋼材	15	15		15			
非鉄金属	14	14		14			
その他	14	8		8	6		6
合計	1,083	808	56	752	274	221	54

梅町西岸壁							
水深(m)	-10~-12	延長(m)		792	トン/m		1,001
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
重油	357	22		22	334	196	139
石油製品	140	94		94	47	47	
化学薬品	121	35	7	28	86	3	83
金属くず	54	54	54				
その他石油製品	39	36		36	3		3
セメント	28				28	8	20
砂利・砂	26				26	25	1
窯業品	14				14	8	6
ガラス類	4				4	4	
鋼材	4	4	3	1			
その他	5	3		3	2	1	1
合計	793	248	63	185	545	291	253

図Ⅲ-1-3 公共埠頭取扱状況図(夢洲・舞洲・此花地区:平成25年)

安治川第1号岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	320			トン/m	286
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
砂糖	84	84	4	79			
野菜・果物	5	5		5			
その他石油製品	3	3		3			
その他	-						
合計	92	92	4	87			

安治川第3号岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	178			トン/m	-
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
-	-						
合計	-						

サイロ岸壁							
水深(m)	-11.0	延長(m)	210			トン/m	1,411
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
麦	296	175		175	121	51	71
その他	-						
合計	296	175		175	121	51	71

天保山岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	370			トン/m	-
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
-	-						
合計	-						

中央突堤北岸壁							
水深(m)	-11	延長(m)	210			トン/m	-
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
-	-						
合計	-						

安治川突堤岸壁							
水深(m)	-5.5~6.5	延長(m)	914			トン/m	16
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
紙・パルプ	12				12		12
その他輸送機械	3	3		3			
その他	0				0	0	0
合計	14	3		3	12	0	12

安治川第2号岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	360			トン/m	149
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
化学薬品	12	0	0		12		
非金属鉱物	11	0	0		11		11
鋼材	9	9	9				
再利用資材	7				7	5	2
産業機械	5	5	5				
金属製品	3	3	3				
鉄鋼	2	2	0	2			
非鉄金属	1	1	1				
その他農産品	1				1		1
取合せ品	1	1		1	0		
その他	1	1	1		0	0	
合計	53	22	20	2	31	17	15

第2号岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	341			トン/m	98
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
砂糖	14	14		14			
産業機械	10	10	10				
鋼材	9	9	3	5			
その他	1	1	1				
合計	34	34	14	19			

第1号岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	328			トン/m	-
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
-	-						
合計	-						

第3号岸壁							
水深(m)	-7.5~-10	延長(m)	315			トン/m	172
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
鋼材	44	44	43	1			
鉄鋼	8	8	8				
金属製品	1	1	1				
産業機械	1	1	1				
その他	-						
合計	54	54	53	1			

第5号岸壁							
水深(m)	-9	延長(m)	394			トン/m	2,433
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
セメント	911	0			911		911
鋼材	35	29	11	19	6		6
産業機械	5	5	5	0			
金属製品	2	2	2	0			
化学肥料	1	0	0		1	1	
化学薬品	1	1	1				
染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	1	1	1	0			
鉄鋼	1	1	0	0			
非鉄金属	1	1	1	0			
その他	1	1	1	0	0	0	
合計	959	41	21	20	918	1	916

第6号岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	359			トン/m	47
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
鋼材	16	16	0	15			
金属くず	1	1	1				
その他	0	0	0				
合計	17	17	2	15			

第7号岸壁							
水深(m)	-10	延長(m)	361			トン/m	56
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
鋼材	19	12	2	10	8		8
非金属鉱物	1	1		1			
その他	0	0	0				
合計	20	13	2	11	8		8

第8号岸壁							
水深(m)	-7.5	延長(m)	336			トン/m	2,308
品種品目	合計	外貨(千トン)			内貨(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
セメント	723				723		723
非鉄金属	53				53	1	52
その他	-						
合計	775				775	1	775

図Ⅲ-1-4 公共埠頭取扱状況図(港地区：平成25年)

第10号岸壁								
水深(m)	-5.5～-9		延長(m)	617		トン/m	594	
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)			
		計	出	入	計	出	入	
鋼材	364	1		1	363		363	
金属製品	2	2		2				
その他	—							
合計	366	3		3	363		363	

第11号岸壁							
水深(m)	-5.5	延長(m)	270		トン/m	273	
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)		
		計	出	入	計	出	入
鋼材	71	14		14	57	54	3
金属製品	3	3		3			
その他	—						
合計	74	17		17	57	54	3

鶴町岸壁								
水深(m)	-10		延長(m)	280		トン/m	0	
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)			
		計	出	入	計	出	入	
-	-							
合計								

大正第1突堤北岸壁								
水深(m)	-6	延長(m)	471			トン/m	68	
品種品目	合計	外賃(千トン)			内賃(千トン)			
		計	出	入	計	出	入	
非鉄金属	14				14			14
化学薬品	9				9			9
鋼材	9				9	9		
その他	—							
合計	32				32	9		23

図Ⅲ－1－5 公共埠頭取扱状況図（大正地区：平成25年）

2) 水深別公共埠頭の現況

水深別の公共埠頭の現況はそれぞれ次のとおりである。

表Ⅲ－１－２ 水深別の公共埠頭の現況（平成 30 年現在）

水深	既設		工事中		既定計画	
	バース数	延長(m)	バース数	延長(m)	バース数	延長(m)
16 m～	1	650				
15 m～	2	700			4	1,400
14 m～	1	350			3 (1)	950 (350)
13 m～	5	1,750	1	260		
12 m～	13	2,922			1	240
11 m～	2	420				
10 m～	41	7,535	1	430		
7.5 m～	35	4,970	2	480	6	1,310
5.5 m～	44	5,287				
4.5 m～						
4.5 m未満		23,369				
合計	144	47,953	4	1,170	14 (1)	3,900 (350)

注：() 内の数値は既設の施設を増深するものであり、内数である。

(2) 外内貿コンテナ埠頭計画

①外貿コンテナ埠頭の現況

1) 外貿コンテナ埠頭の現況等

外貿コンテナ埠頭の現況等は、次のとおりである。

表Ⅲ－１－３ 外貿コンテナ埠頭の現況（平成 30 年現在）

地区名	埠頭名	施設諸元			埠頭用地		ターミナル運営方式等		
		水深(m)	バース数	延長(m)	面積(ha)	奥行(m)	運営形態	荷役方式	GC基数
夢洲地区	C10	15	1	350	18	500	港湾運営会社	テナー	8
	C11	15	1	350	18	500			
	C12	16	1	650	20	500			
南港地区	C1～4	13.5	4	1,400	43	300	港湾運営会社	テナー	8
	C6～7	12	2	600	21	350	公共	キャリア	2
	C8	14	1	350	13	350	港湾運営会社	テナー	3
	C9	13	1	350	11	350			2
	国際フェリー岸壁	10	2	450	5	100	港湾運営会社		
新島地区	C13～16	15	4	1,400	73	500	—	—	—
合計			17	5,900	221				23

C10,C11,C12					
水深(m)	15～16		延長(m)	1100	
航路方面	輸出		輸入		寄港頻度 (便/週)
	千TEU	千トン	千TEU	千トン	
北米・地中海航路	25	42	16	398	1
豪州航路	9	48	8	144	0.93
東南アジア航路	81	693	135	2,925	8
韓国航路	2	31	1	10	1
中国航路	281	1,631	314	6,495	17.5
合計	399	2,445	474	9,971	28.43

国際フェリー岸壁					
水深(m)	10		延長(m)	450	
航路方面	輸出		輸入		寄港頻度 (便/週)
	千TEU	千トン	千TEU	千トン	
北米・地中海航路					
豪州航路					
東南アジア航路					
韓国航路	28	333	35	592	5
中国航路	12	41	12	257	1.5
合計	40	374	47	849	6.5

C8,C9					
水深(m)	13～14		延長(m)	700	
航路方面	輸出		輸入		寄港頻度 (便/週)
	千TEU	千トン	千TEU	千トン	
北米・地中海航路					
豪州航路	27	137	9	152	1.08
東南アジア航路	87	1,132	86	1,749	10.5
韓国航路	7	119	8	143	2
中国航路	101	287	111	2,404	9
合計	222	1,675	213	4,448	22.58

C6,C7					
水深(m)	12		延長(m)	600	
航路方面	輸出		輸入		寄港頻度 (便/週)
	千TEU	千トン	千TEU	千トン	
北米・地中海航路	7	159	3	35	1
豪州航路					
東南アジア航路					
韓国航路					
中国航路					
合計	7	159	3	35	1

C1,C2,C3,C4					
水深(m)	13.5		延長(m)	1400	
航路方面	輸出		輸入		寄港頻度 (便/週)
	千TEU	千トン	千TEU	千トン	
北米・地中海航路	9	66	15	243	0.5
豪州航路	12	52	9	152	0.99
東南アジア航路	108	1,363	266	5,532	7
韓国航路	59	693	58	1,030	6
中国航路	127	395	127	2,754	6.5
合計	315	2,568	474	9,711	20.99

図 3 - 1 - 6 外貿コンテナ埠頭の利用状況図（平成 25 年）

2) 水深別外貿コンテナ埠頭延長の現況

水深別の外貿コンテナ埠頭延長の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ－１－４ 水深別外貿コンテナ埠頭延長の現況（平成 30 年）

水深	既設		工事中		既定計画	
	バース数	延長(m)	バース数	延長(m)	バース数	延長(m)
15 m～ 16 m	1	650				
15 m～	2	700			4	1,400
14 m～	1	350			1 (1)	350 (350)
13 m～	5	1,750				
12 m～	1	300				
11 m～						
10 m～	2	450				
合計	12	4,200	-	-	5 (1)	1,750 (350)

②外内貿コンテナ埠頭計画の必要性

<課題>

- 国際戦略港湾として、貨物量の増加や船舶の大型化に対応し、より一層の国際競争力の強化を図る必要がある。
- 外航航路と内航航路との接続機能の強化を図る必要がある。

<対応>

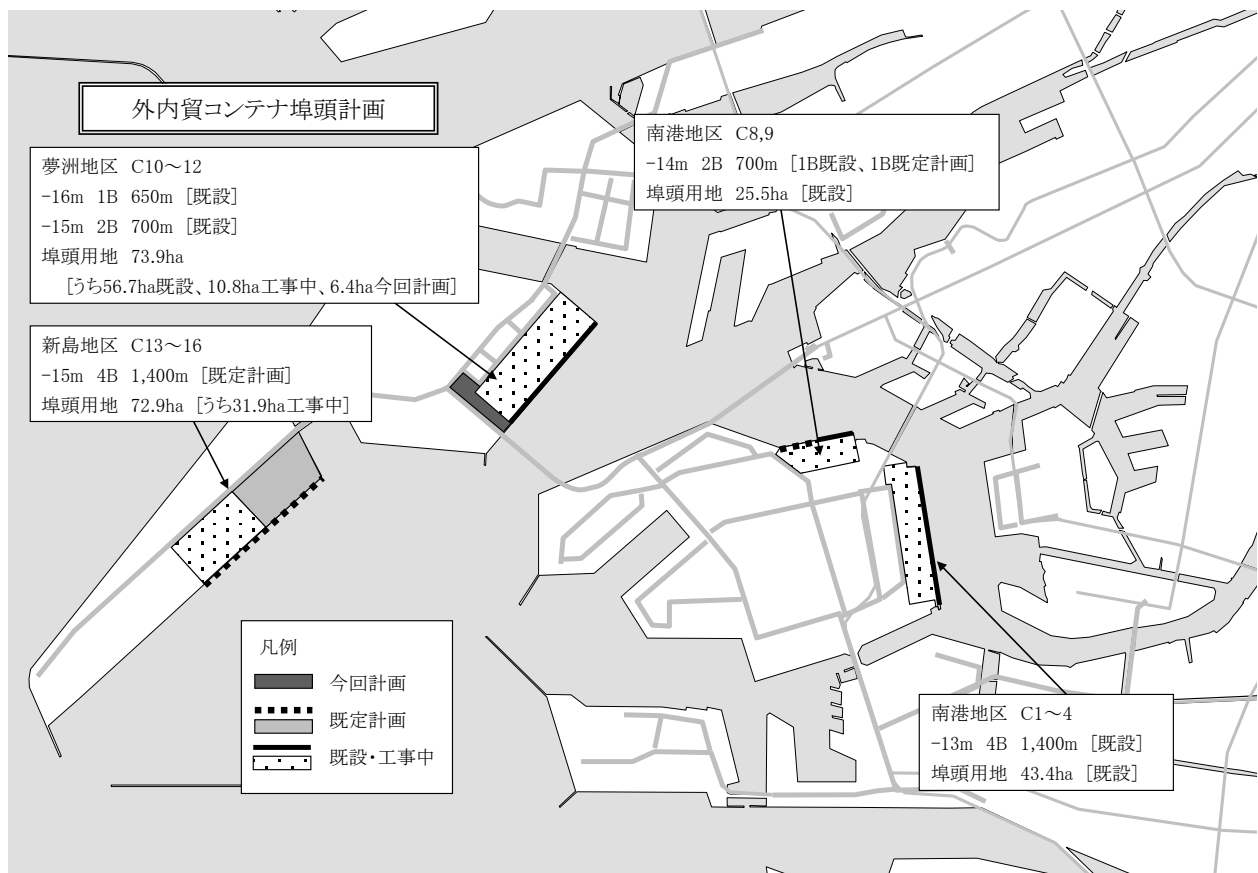
- 夢洲 C10～12 の埠頭用地を拡張し、コンテナ取扱機能を強化する。
- 南港の C1～4、C8,9、夢洲の C10～12 を外内貿コンテナ埠頭と位置付ける。
- C13～C16 を含む新島地区においては、平成 40 年代前半まで海面処分場としての活用が見込まれる。

3) 外内貿コンテナ埠頭の配置

外内貿コンテナ埠頭の配置は、次のとおりである。

表Ⅲ－１－５ 外内貿コンテナ埠頭の配置

地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	対象船型	備考
夢洲地区	C10, 11	15	700	50,000D/W	既設
	C12	16	650	100,000D/W	
南港地区	C1～4	13	1,400	40,000D/W	既設
	C8, 9	14	700	40,000D/W	既設・既定計画
新島地区	C13～16	15	1,400	50,000D/W	既定計画



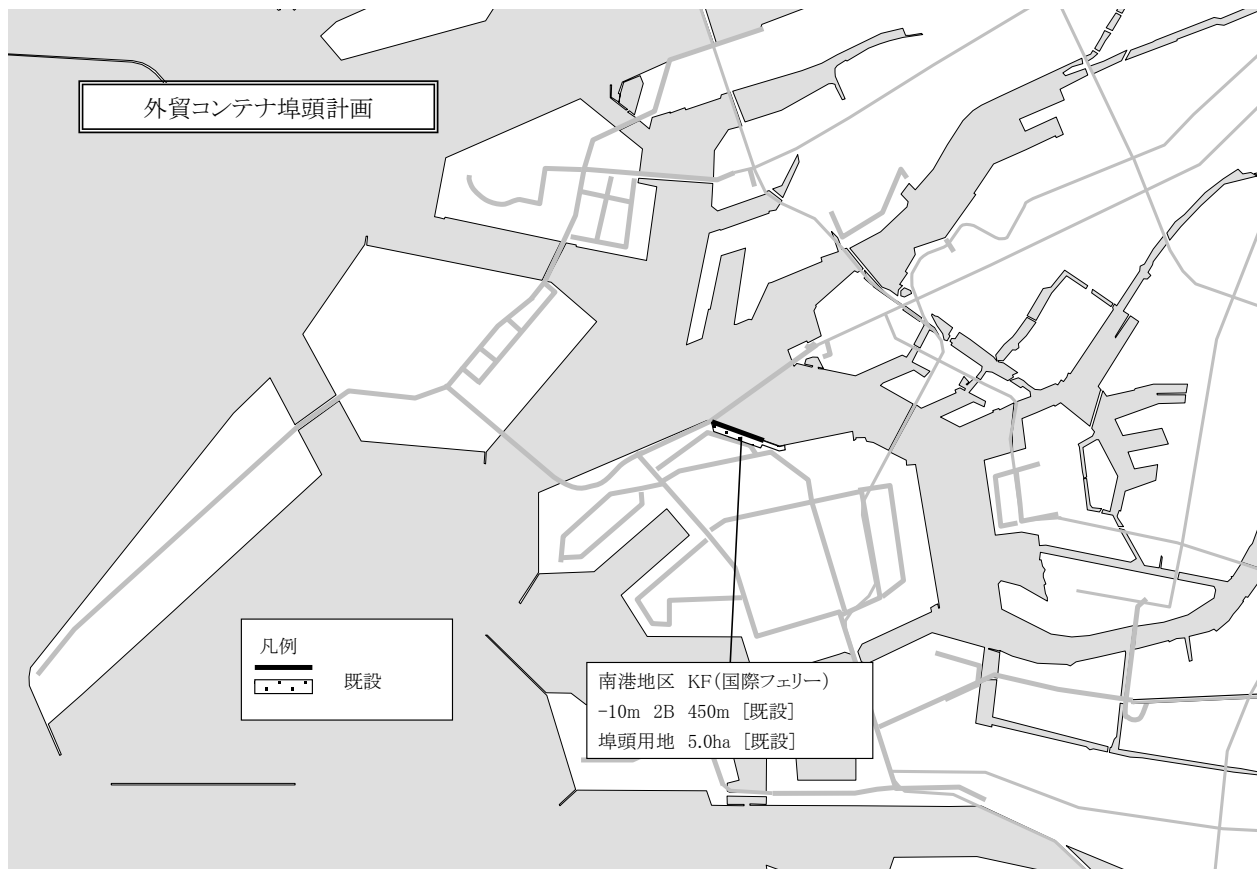
図Ⅲ－１－７ 外内貿コンテナ埠頭計画

(3) 外貿コンテナ埠頭計画

外貿コンテナ埠頭計画は、次のとおりである。

表Ⅲ－１－６ 外貿コンテナ埠頭計画

地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	対象船型	備考
南港地区	国際フェリー岸壁	10	450	20,000G/T	既設



図Ⅲ－１－８ 外貿コンテナ埠頭計画

(4) 外貿一般貨物埠頭計画

①外貿一般貨物埠頭計画の必要性

<課題>

○貨物量の増加や船舶の大型化への対応を図る必要がある。

<対応>

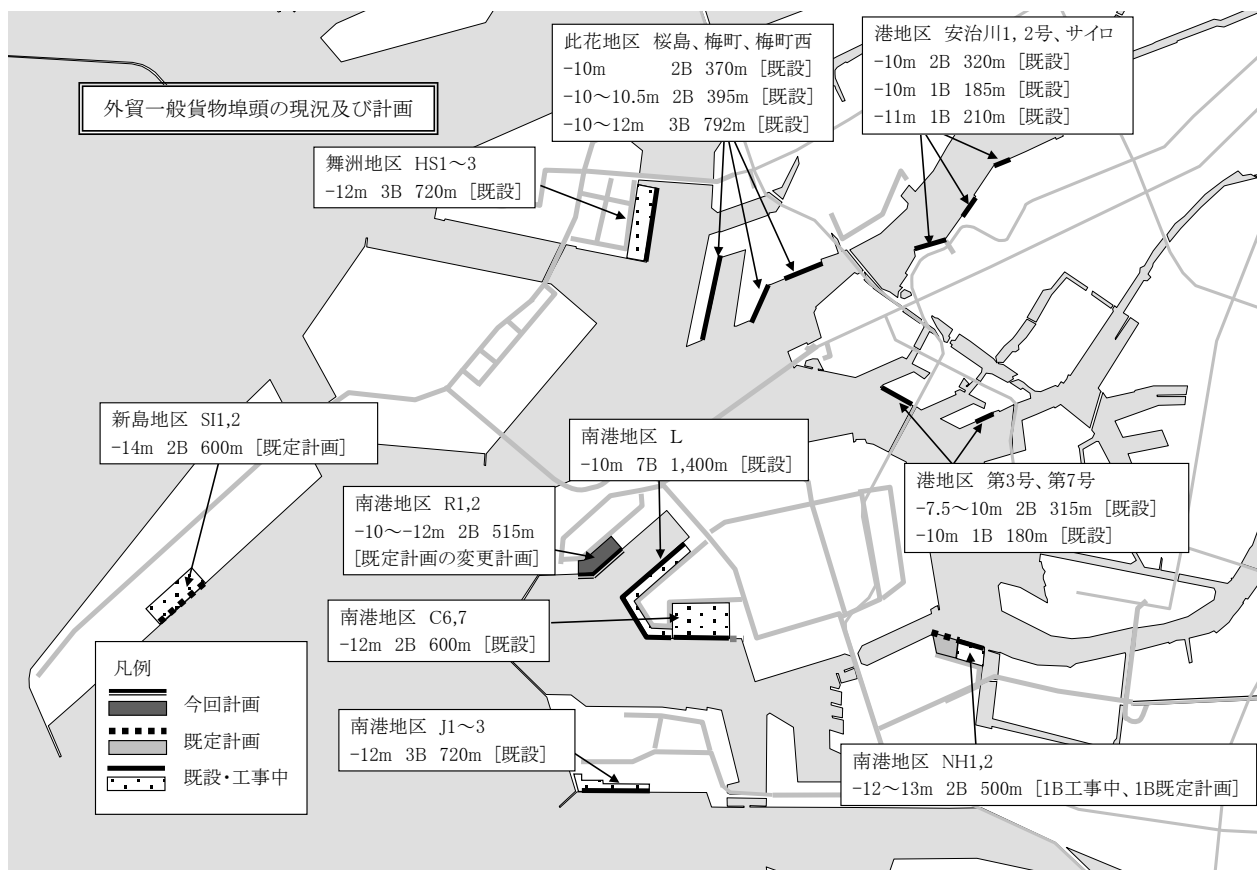
○南港地区の R1,R2 を外貿一般埠頭と位置付ける。

②外貿一般貨物埠頭の配置

外貿一般貨物埠頭の配置は、次のとおりである。

表Ⅲ－１－７ 外貿一般貨物埠頭の配置

地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	対象船型	備考
新島地区	SI1, 2	14	600	50, 000D/W	既定計画
舞洲地区	HS1～3	12	720	30, 000D/W	既設
南港地区	NH1	13	260	40, 000D/W	工事中
	NH2	12	240	30, 000D/W	既定計画
	R1	10	185	15, 000D/W	既定計画の変更計画
	R2	12	330	30, 000D/W	既定計画の変更計画
	C6, 7	12	600	35, 000D/W	既設
	L岸壁	10	1, 400	15, 000D/W	既設
	J岸壁	12	720	30, 000D/W	既設
此花地区	桜島、梅町、梅町西	10～12	1, 557	10, 000～30, 000D/W	既設
港地区	第3, 7号	7. 5～10	495	5, 000～15, 000D/W	既設
	安治川第1, 2号	10	505	10, 000D/W	既設
	サイロ	11	210	20, 000D/W	既設



図Ⅲ－１－９ 外貿一般貨物埠頭の現況及び計画

（５）内貿埠頭計画

①内貿埠頭計画の必要性

<課題>

- 各係留施設の利用状況と今後の利用見込み等を考慮し、港湾経営の観点も鑑みつつ、埠頭の利用転換・廃止などの計画見直しを行う必要がある。
- 内陸部に存する物揚場は、住宅等の都市機能に近接していることから、発災時には市民の安全を脅かす恐れがあると考えられる。

<対応>

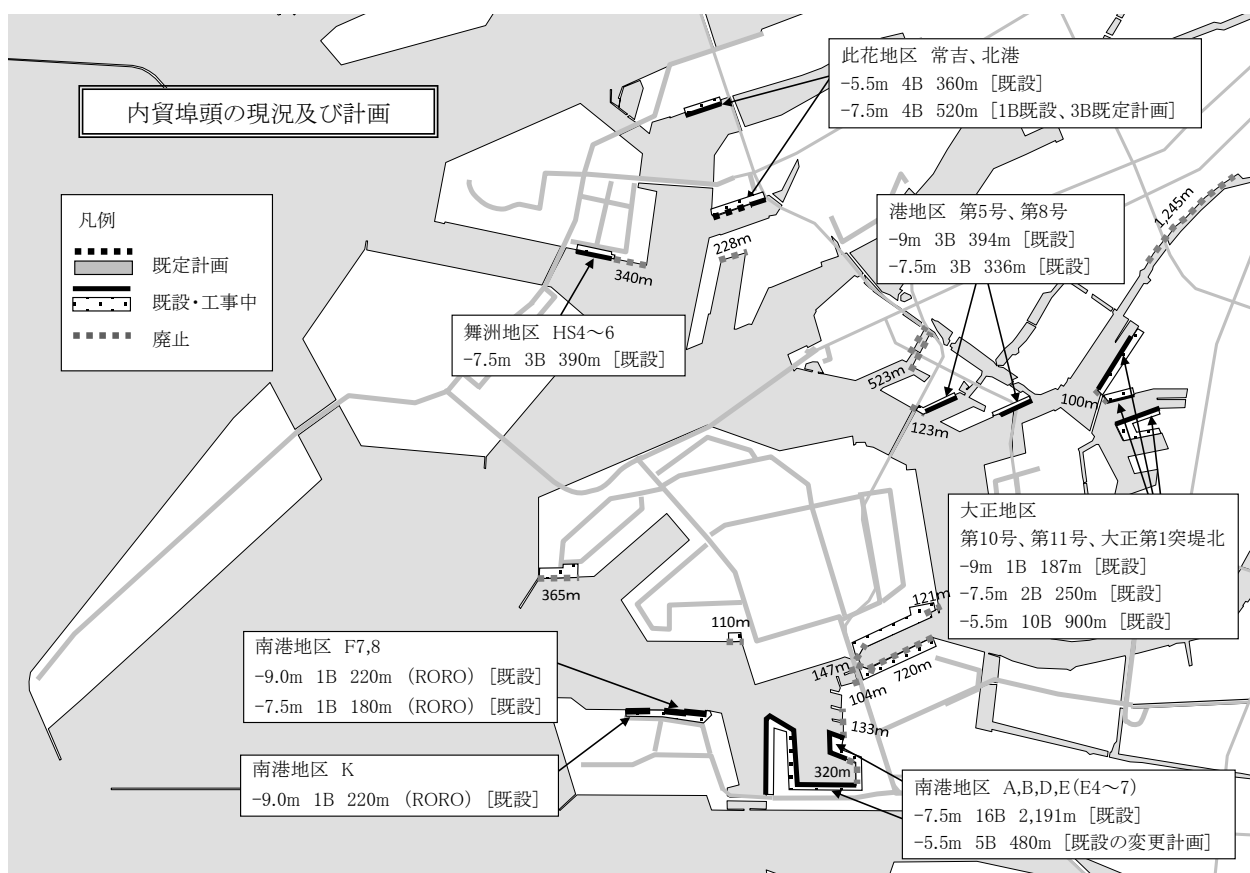
- 南港地区の G 岸壁（G1～8）及び E 岸壁の一部（E1～3）について、廃止を計画する。
- 港内の一部の物揚場について廃止を計画する。

②内貿埠頭の規模及び配置

内貿埠頭の規模及び配置は、以下のとおりである。

表Ⅲ－１－８ 内貿埠頭の規模及び配置

地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	対象船型	備考
舞洲地区	HS4～6	7.5	390	5,000D/W	既設
	物揚場	4.0	340		廃止
南港地区	K岸壁	9.0	220	10,000GT	既設
	F7,8	9.0	220	10,000GT	既設
		7.5	180	5,000GT	
	A, B, D, E（E4～E7）岸壁	5.5～7.5	2,671	2,000～5,000D/W	既設の変更計画
	E（E1～E3）岸壁	5.5	320	2,000D/W	廃止
	G岸壁	5.5	720	2,000D/W	廃止
	物揚場	4.0	980		廃止
此花地区	常吉、北港	5.5～7.5	880	2,000～5,000D/W	既設、既定計画
	物揚場	2.0	228		廃止
港地区	第5,8号	7.5～9.0	730	5,000～6,000D/W	既設
	物揚場	1.0～4.0	1,891		廃止
大正地区	第10,11号、大正第1突堤北	5.5～9.0	1,337	2,000～6,000D/W	既設
	物揚場	4.0	100		廃止



図Ⅲ－１－１０ 内貿埠頭の現況及び計画

2 フェリー埠頭計画

①内貿フェリー埠頭の現況

内貿フェリー埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ－２－１ 内貿フェリー埠頭の現況（平成 31 年 1 月現在）

地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	船社	航路	頻度	船舶諸元	
							船名	総トン数
南港地区 (北埠頭)	R4	10.0	281	(株)フェリーさんふらわあ	志布志	1便/日	さんふらわあ さつま	13,659
							さんふらわあ きりしま	13,659
	R5	10.0	183		別府	1便/日	さんふらわあ あいぼり	9,245
							さんふらわあ こばると	9,245
南港地区 (南港南)	F1	7.5	230	(株)名門大洋フェリー	新門司	1便/日	フェリーおおさかⅡ	14,920
							フェリーきたきゅうしゅうⅡ	14,920
	F3	7.5	250	四国開発フェリー(株)	東予	1便/日	おれんじおおさか	14,759
							おれんじえひめ	14,749
	F4	7.5	230	(株)名門大洋フェリー	新門司	1便/日	フェリーふくおかⅡ	9,774
							フェリーきょうとⅡ	9,770

②内貿フェリー埠頭計画の必要性

<課題>

- 環境負荷低減に向けた取組の他、トラックドライバー不足や労務管理強化を背景に、今後ともモーダルシフトの進展が見込まれる。近年、フェリー船社は運航船舶のリプレイス（新造・大型化）を進めている。
- 前回の計画改訂以降、航路の廃止や減便等により、内貿フェリーの航路数及び便数が減少している。

<対応>

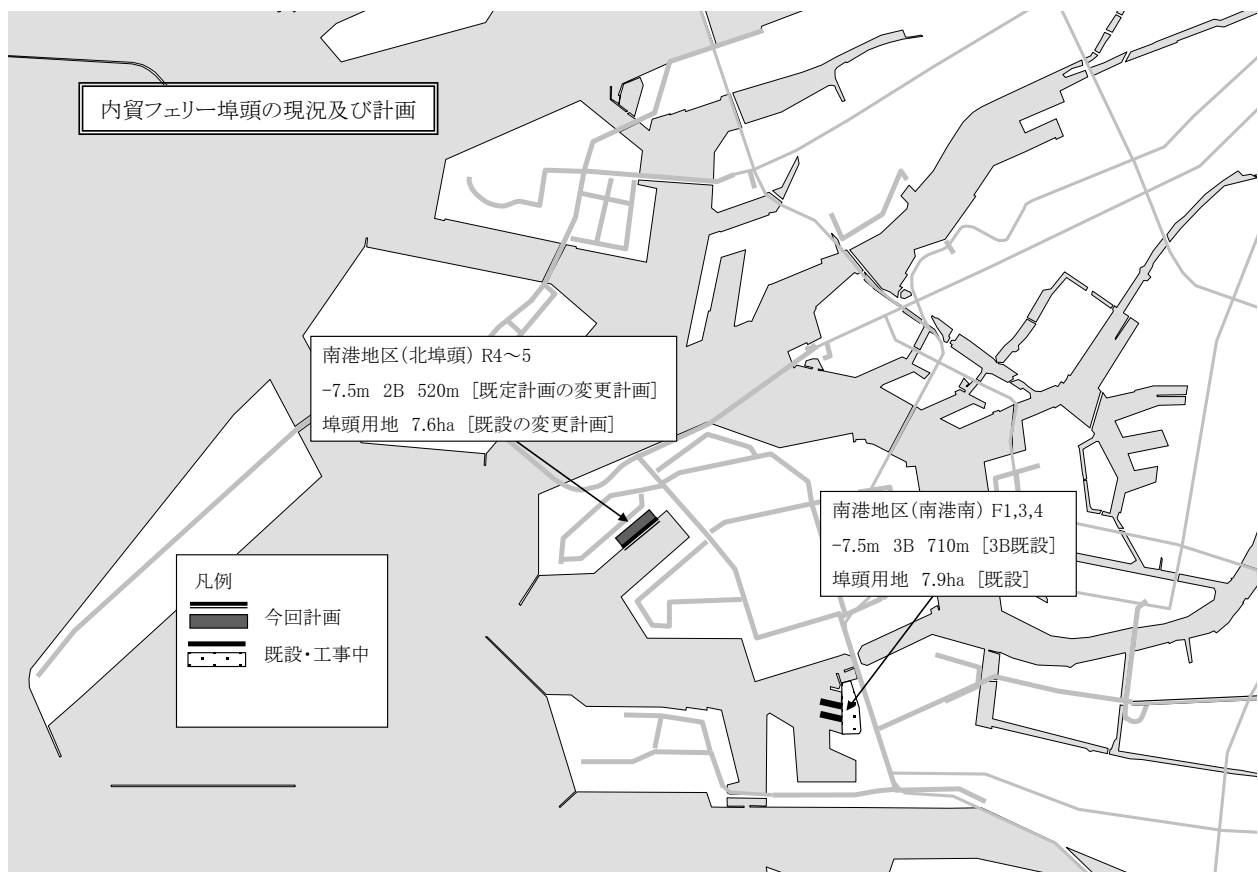
- 南港地区（北埠頭）のフェリー埠頭計画を縮小し、R2 は外貿一般埠頭と位置付ける。

③内貿フェリー埠頭の規模及び配置の設定

内貿フェリー埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ－２－２ 内貿フェリー埠頭の規模及び配置

地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	対象船型	備考
南港地区(北埠頭)	R4	7.5	520	6,000～10,000GT	既定計画の変更計画
	R5				
南港地区(南港南)	F1	7.5	230	15,000GT	既設
	F3		250	15,000GT	
	F4		230	10,000GT	



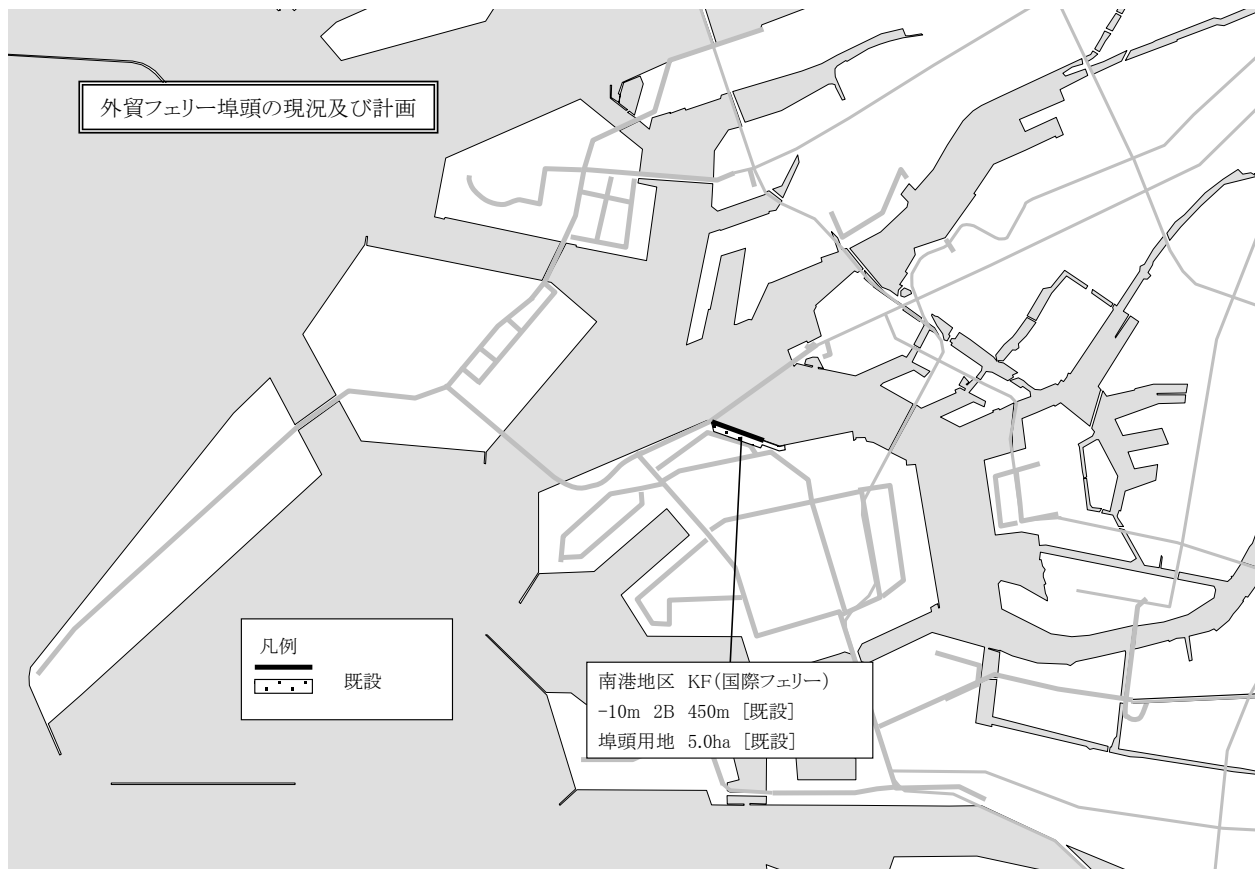
図Ⅲ－２－１ 内貿フェリー埠頭の現況及び計画

④外貨フェリー埠頭の現況及び計画

外貨フェリー埠頭の現況及び計画は、次のとおりである。

表Ⅲ－２－３ 外貨フェリー埠頭の現況及び計画（平成 31 年 1 月現在）

地区名	施設名		水深 (m)	延長 (m)	対象船型	船社	航路	頻度	船舶諸元		備考
									船名	総トン数	
南港地区 (南港北)	国際 フェリー 岸壁	KF1	10.0	450	20,000GT	上海フェリー(株)	上海	1便/週	SU ZHOU HAO	7,511	既設
						日中国際フェリー(株)		1便/2週	XIN JIAN ZHEN	7,179	
		KF2				(株)サンスターライン	釜山	3便/週	PANSTAR DREAM	9,759	



図Ⅲ－２－２ 外貨フェリー埠頭の現況及び計画

※国際フェリー岸壁の位置等は、P49 の外貨コンテナ埠頭計画の再掲である。

3 旅客船埠頭計画

(1) 旅客船の需要推計

①旅客船入港隻数の推計

入港隻数の推計は、次のとおりである。

表Ⅲ－３－１ 入港隻数の推計

入港隻数	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H30年代 後半	推計の考え方
外航クルーズ船	23	17	11	18	22	120	
外国籍	22	13	11	18	22	118	外航クルーズ需要の高まりを踏まえ、日本全国の寄港回数は大きく増加し、また日本全国の寄港数に対する大阪港寄港回数の占有率も回復することを見込む
日本籍	1	4	0	0	0	2	国内クルーズ需要の動向を踏まえ、日本全国の寄港回数は将来も大きく変動しないことを見込むが、日本全国の寄港数に対する大阪港寄港回数の占有率は数年前までの水準を回復すると見込む。なお、外内比は2012年～2016年の実績比で按分する。
内航クルーズ船	10	5	2	3	6	9	
クルーズ船以外の 不定期内航客船	10	10	10	7	7	9	2012年～2016年の平均程度と見込む

②階級別入港隻数の推計

外国籍クルーズ船については、大型化の傾向を踏まえて、まず平成 24～28 年に入港した各船の総トン数に、将来の大型化を見込んだ割合を積算して階級別に整理し、さらに入港隻数の合計が目標年次の入港隻数推計値となるよう再整理する。

日本籍クルーズ船については、現在の 3 隻体制が維持されるとし、まず平成 24～28 年に入港した各船を総トン数の階級別に整理し、さらに目標年次の入港隻数推計値となるよう再整理する。

クルーズ船以外の不定期内航客船については、平成 24～28 年に入港した各船を総トン数の階級別に整理し、さらに目標年次の入港隻数推計値となるよう再整理する。

表Ⅲ－３－２ 総トン数階級別入港隻数の推計

	2012-2016実績				2012-2016計	2026推計				2026計
	外航クルーズ		内航クルーズ	クルーズ船以外の不定期内航客船		外航クルーズ		内航クルーズ	クルーズ船以外の不定期内航客船	
	外国籍船	日本籍船	日本籍船			外国籍船	日本籍船	日本籍船		
3000GT未満	0	0	0	18	18	0	0	0	4	4
6000GT未満	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0
10000GT未満	1	0	0	21	22	7	0	0	4	11
15000GT未満	10	0	0	0	10	1	0	0	0	1
20000GT未満	2	0	0	3	5	14	0	0	1	15
30000GT未満	19	2	20	2	43	3	0	8	0	11
40000GT未満	5	0	0	0	5	11	0	0	0	11
50000GT未満	5	0	0	0	5	21	0	0	0	21
60000GT未満	2	2	7	0	11	1	2	1	0	4
80000GT未満	16	0	0	0	16	10	0	0	0	10
100000GT未満	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0
120000GT未満	14	0	0	0	14	22	0	0	0	22
150000GT未満	2	0	0	0	2	5	0	0	0	5
200000GT未満	1	0	0	0	1	19	0	0	0	19
200000GT以上	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
合計	86	4	27	44	161	118	2	9	9	138

(2) 今回計画する旅客船埠頭の規模及び配置

配置計画は次のとおりとする。

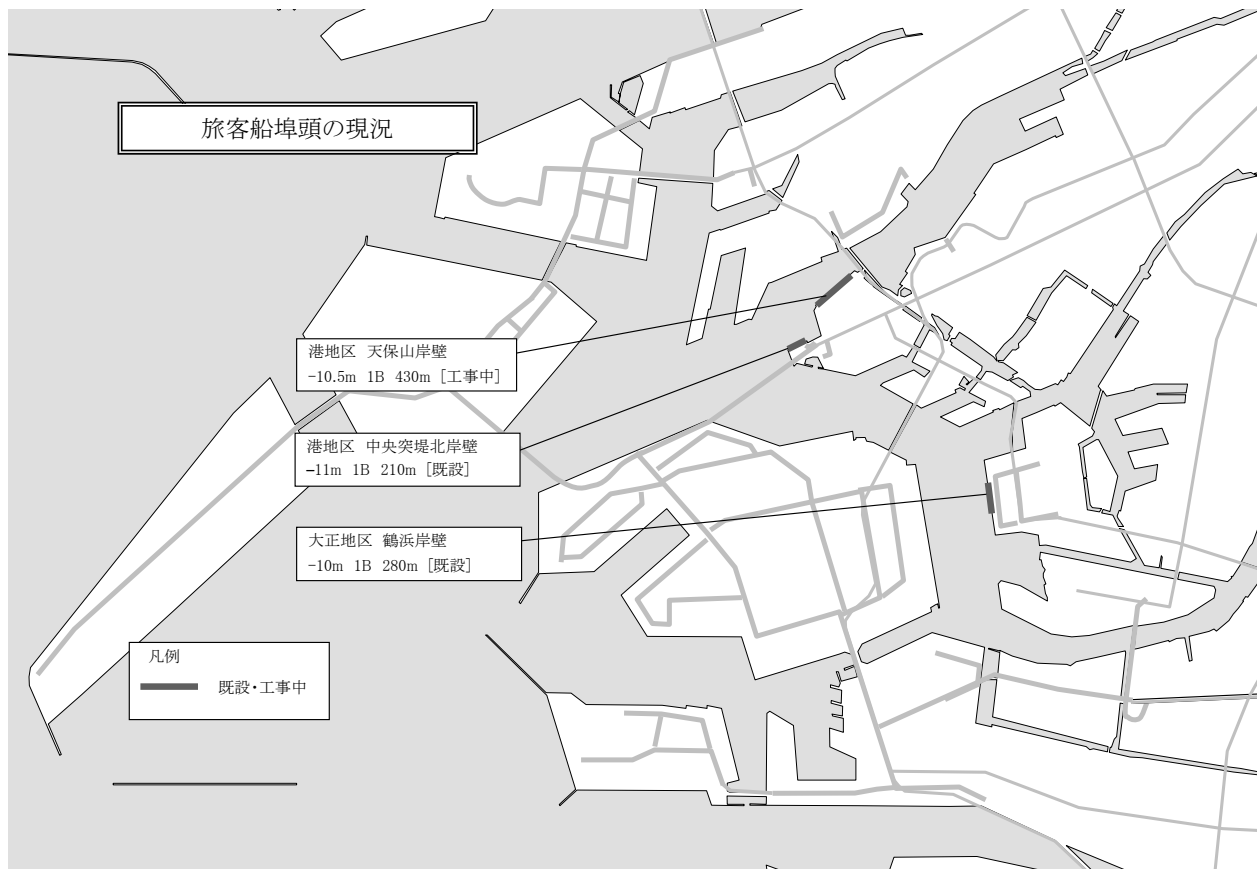
表Ⅲ－３－３ 配置計画

	推計入港回数					配置計画		
	外航クルーズ		内航クルーズ	クルーズ船以外の不定期内航客船	計	天保山岸壁	鶴浜岸壁	中央突堤北岸壁
	外国籍船	日本籍船	日本籍船			(225,282GT)	(30,000GT)	(10,000GT)
3000GT未満	0	0	0	4	4	0	0	4
6000GT未満	0	0	0	0	0	0	0	0
10000GT未満	7	0	0	4	11	0	0	11
15000GT未満	1	0	0	0	1	0	1	0
20000GT未満	14	0	0	1	15	0	15	0
30000GT未満	3	0	8	0	11	0	11	0
40000GT未満	11	0	0	0	11	11	0	0
50000GT未満	21	0	0	0	21	21	0	0
60000GT未満	1	2	1	0	4	4	0	0
80000GT未満	10	0	0	0	10	10	0	0
100000GT未満	0	0	0	0	0	0	0	0
120000GT未満	22	0	0	0	22	22	0	0
150000GT未満	5	0	0	0	5	5	0	0
200000GT未満	19	0	0	0	19	19	0	0
200000GT以上	4	0	0	0	4	4	0	0
合計	118	2	9	9	138	96	27	15

以上より、旅客船埠頭の規模及び配置は次のとおりとする。

表Ⅲ－３－４ 旅客船埠頭の現況

地区名	施設名	水深 (m)	延長 (m)	バース 数	対象船型	備考	配置の考え方
港地区(中央埠頭)	天保山	10.5	430	1	225, 282GT	工事中	主に大型クルーズ船 (30,000GT以上) に対応
大正地区(鶴浜)	鶴浜	10.0	280	1	30,000GT	既設	主にクルーズ船 (10,000GT以上、30,000GT未満) に対応
港地区(中央埠頭)	中央突堤北	11.0	210	1	10,000GT	既設	主にクルーズ船以外の 不定期内航客船(10,000GT未満) に対応



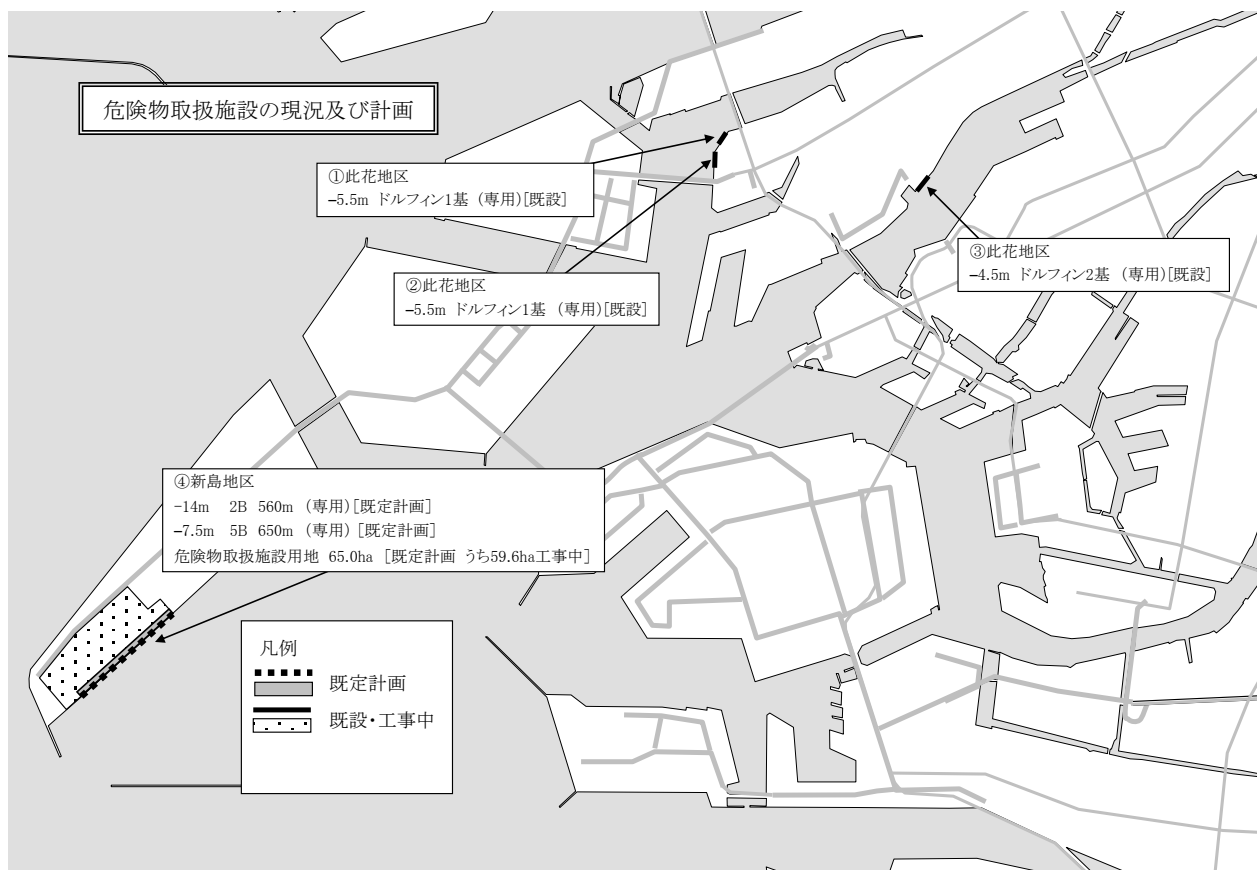
図Ⅲ－３－１ 旅客船埠頭の現況

4 危険物取扱施設計画

危険物取扱施設の現況及び計画は次のとおりである。

表Ⅲ－４－１ 危険物取扱施設の現況及び計画

番号	岸壁、ドルフィン名称	水深(m)	延長(m)	内容
①	川本倉庫（ドルフィン1基）	5.5	－	既設
②	アスト（ドルフィン1基）	5.5	－	既設
③	関西化成品輸送（ドルフィン2基）	4.5	－	既設
④	新島地区	7.5～14.0	1,210	既定計画



図Ⅲ－４－１ 危険物取扱施設の現況及び計画

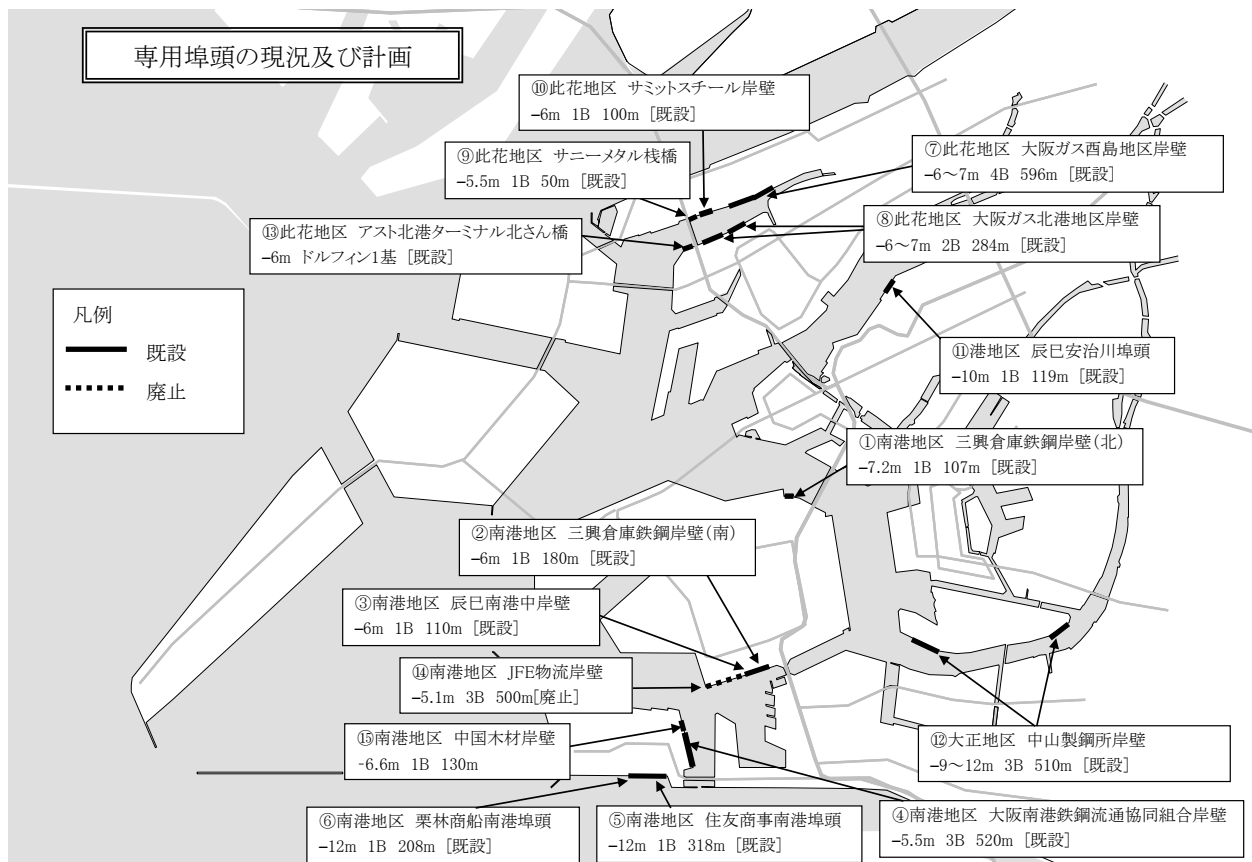
5 専用埠頭計画

(1) 専用埠頭

水深 5.5m以上の専用埠頭の現況及び計画は次のとおりである。

表Ⅲ－５－１ 専用埠頭の現況及び計画

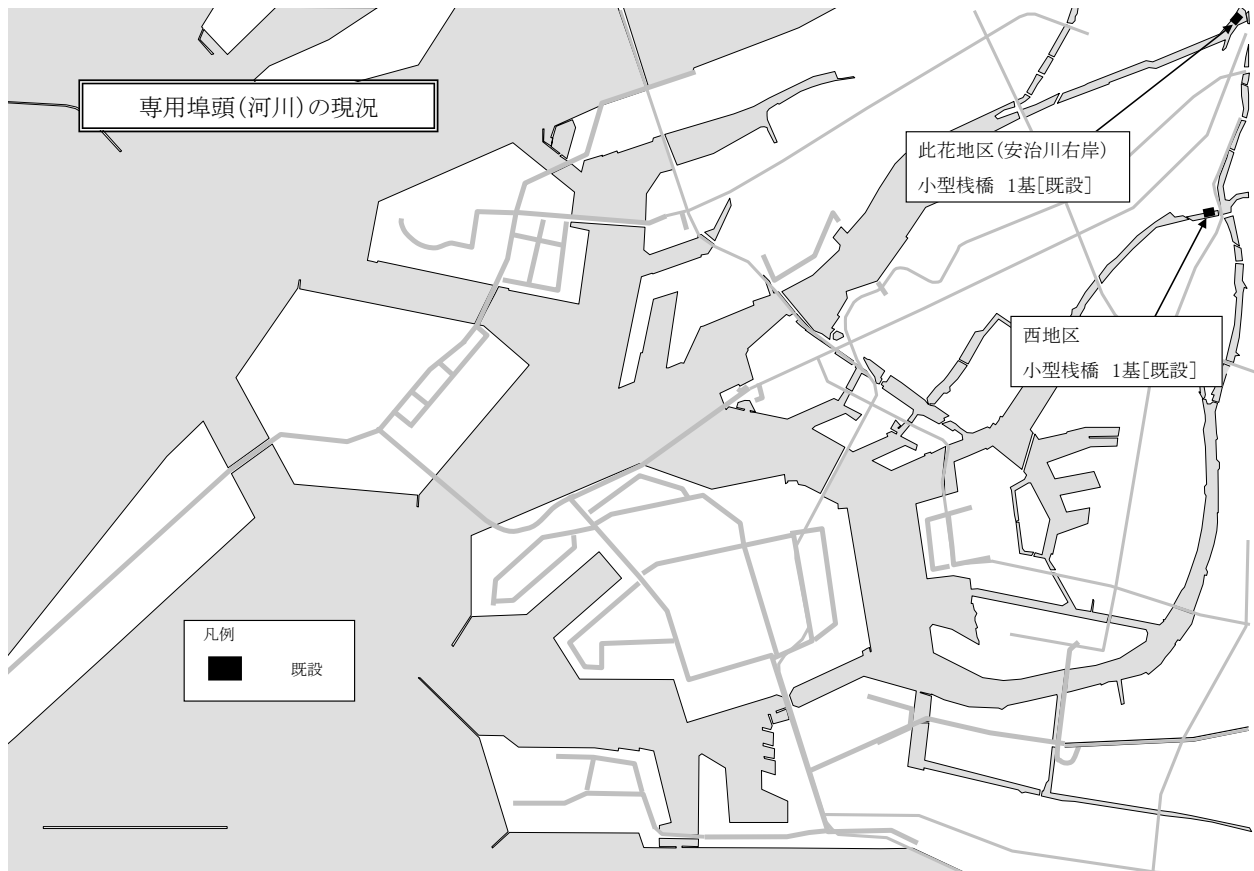
番号	岸壁、ドルフィン名称	水深(m)	延長(m)	内容	備考
①	三興倉庫鉄鋼岸壁（北）	7.2	107	既設	
②	三興倉庫鉄鋼岸壁（南）	6.0	180	既設	
③	辰巳南港中岸壁	6.0	110	既設	
④	大阪南港鉄鋼流通協同組合岸壁	5.5	520	既設	
⑤	住友商事南港埠頭	12.0	318	既設	
⑥	栗林商船南港埠頭	12.0	208	既設	
⑦	大阪ガス西島地区岸壁	6.0～7.0	596	既設	
⑧	大阪ガス北港地区岸壁	6.0～7.0	284	既設	
⑨	サニーメタル栈橋	5.5	50	既設	
⑩	サミットスチール岸壁	6.0	100	既設	
⑪	辰巳安治川埠頭	10.0	119	既設	
⑫	中山製鋼所岸壁	9.0～12	627	既設	
⑬	アスト北港ターミナル北さん橋 （ドルフィン1基）	6.0	-	既設	
⑭	（JFE物流岸壁）	(5.1)	(500)	廃止	事業所移転に伴い、廃止 (水深5.5m未満)
⑮	中国木材岸壁	6.6	130	既設	



図Ⅲ－５－１ 専用埠頭の現況及び計画

（２）専用埠頭（河川）

河川管理施設としての専用埠頭（小型栈橋）の現況は次のとおりである。



図Ⅲ－５－２ 専用埠頭（河川）の現況

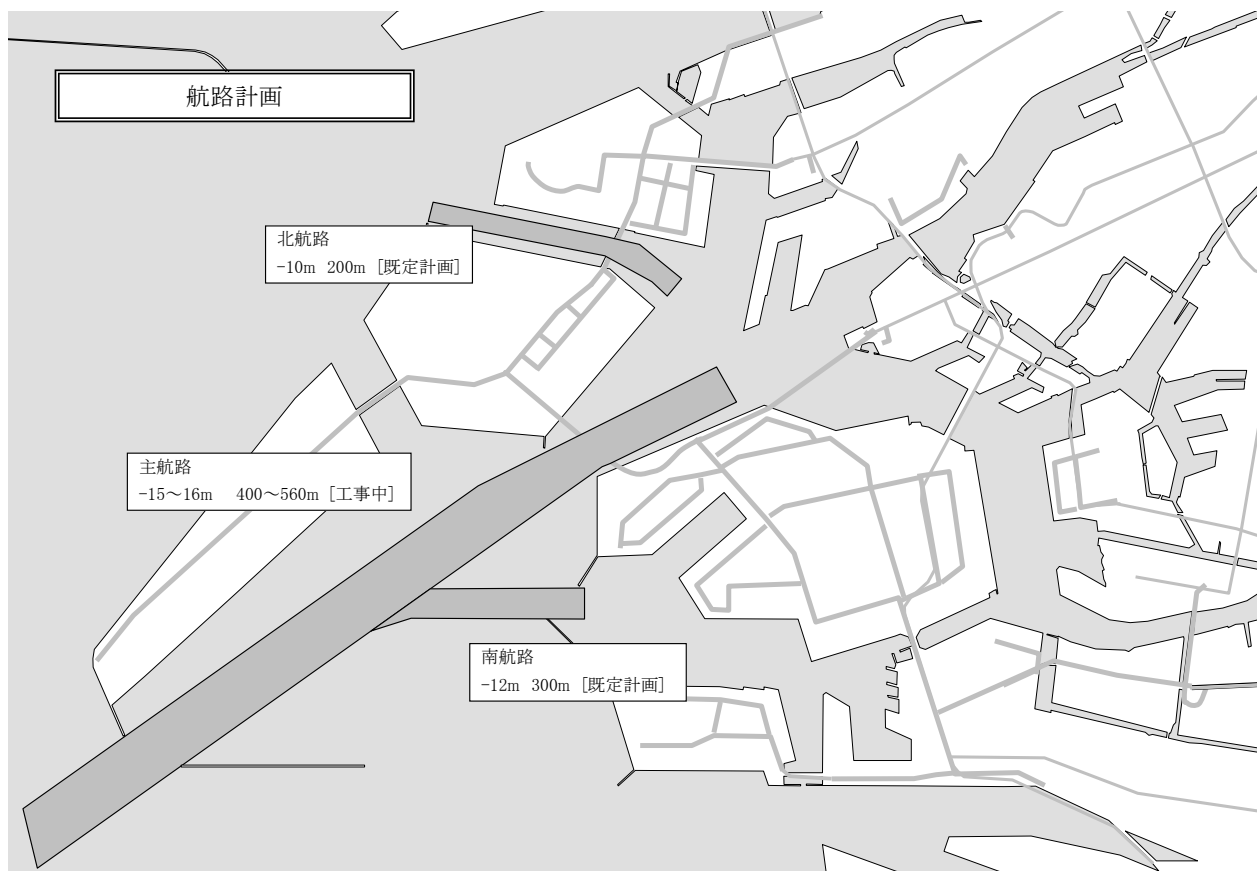
6 水域施設計画

(1) 航路計画

航路の計画は、次のとおりである。

表Ⅲ－６－１ 航路計画

航路名	水深(m)	航路幅(m)	備考
主航路	15～16	400～560	工事中
北航路	10	200	既定計画
南航路	12	300	既定計画



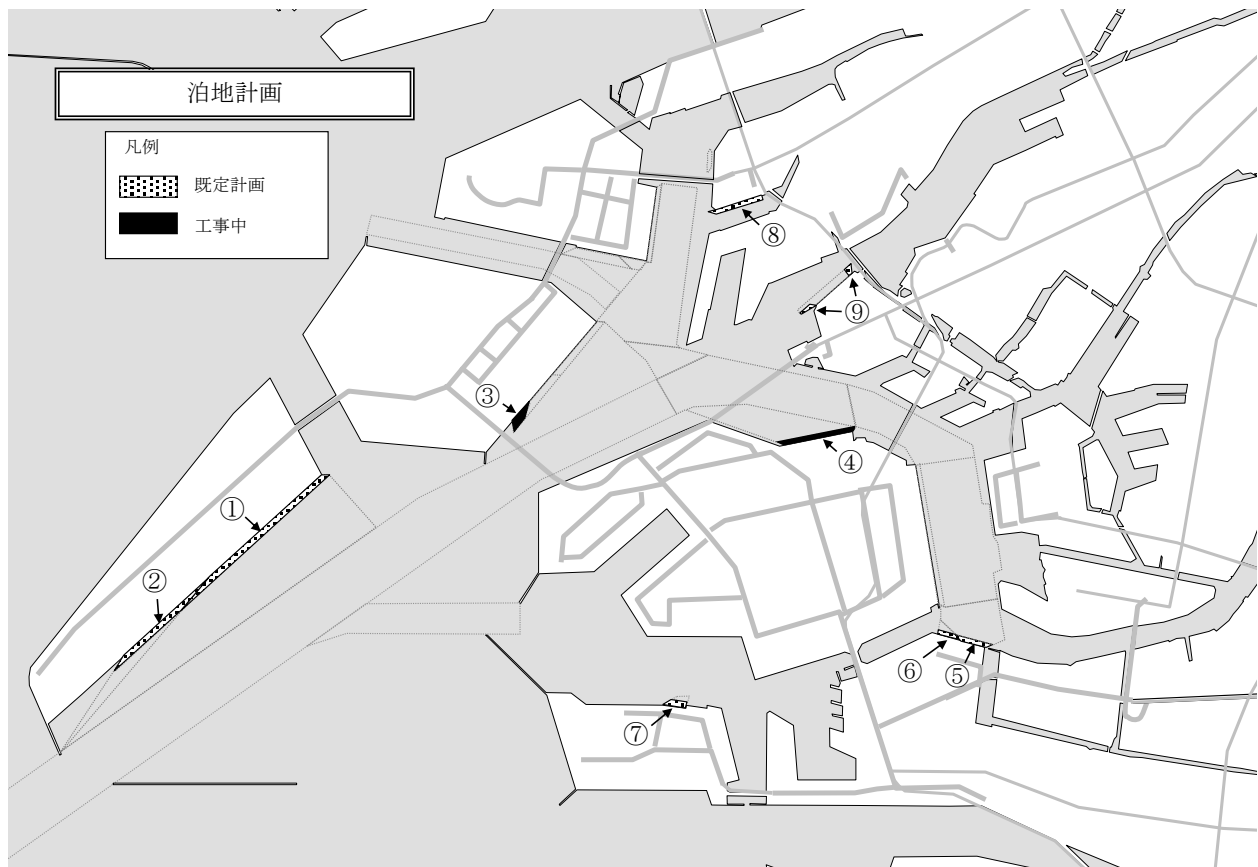
図Ⅲ－６－１ 航路計画

(2) 泊地計画

主要な泊地の計画は、次のとおりである。

表Ⅲ－６－２ 泊地計画

	地区名	水深(m)	面積(ha)	備考
①	新島地区	-15	8.0	既定計画
②	新島地区	-14	5.4	既定計画
③	夢洲地区	-16	0.9	工事中
④	南港地区(南港北)	-14	3.8	工事中
⑤	南港地区(南港東)	-13	1.6	既定計画
⑥	南港地区(南港東)	-12	1.0	既定計画
⑦	南港地区(南埠頭)	-9	1.1	既定計画
⑧	此花地区	-7.5	0.7	既定計画
⑨	港地区	-10.5	0.6	既定計画



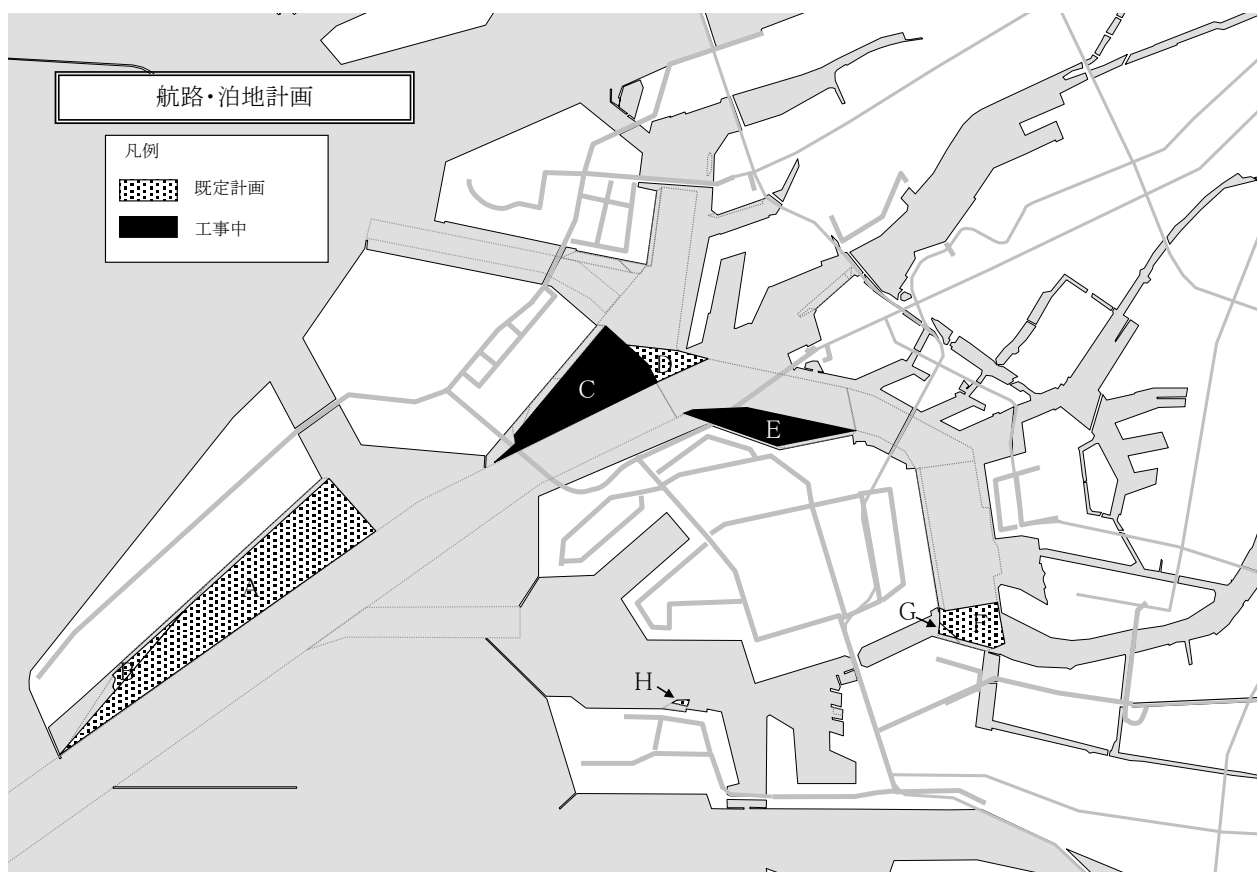
図Ⅲ－６－２ 泊地計画

(3) 航路・泊地計画

主要な航路・泊地の計画は、次のとおりである。

表Ⅲ－６－３ 航路・泊地計画

	地区名	水深(m)	面積(ha)	備考
A	新島地区	-15	155.3	既定計画
B	新島地区	-14	6.0	既定計画
C	夢洲地区	-16	74.0	工事中
D	南港地区(南港北)	-14	12.8	既定計画
E	南港地区(南港北)	-14	32.2	工事中
F	南港地区(南港東)	-13	21.8	既定計画
G	南港地区(南港東)	-12	1.0	既定計画
H	南港地区(南埠頭)	-9	1.5	既定計画



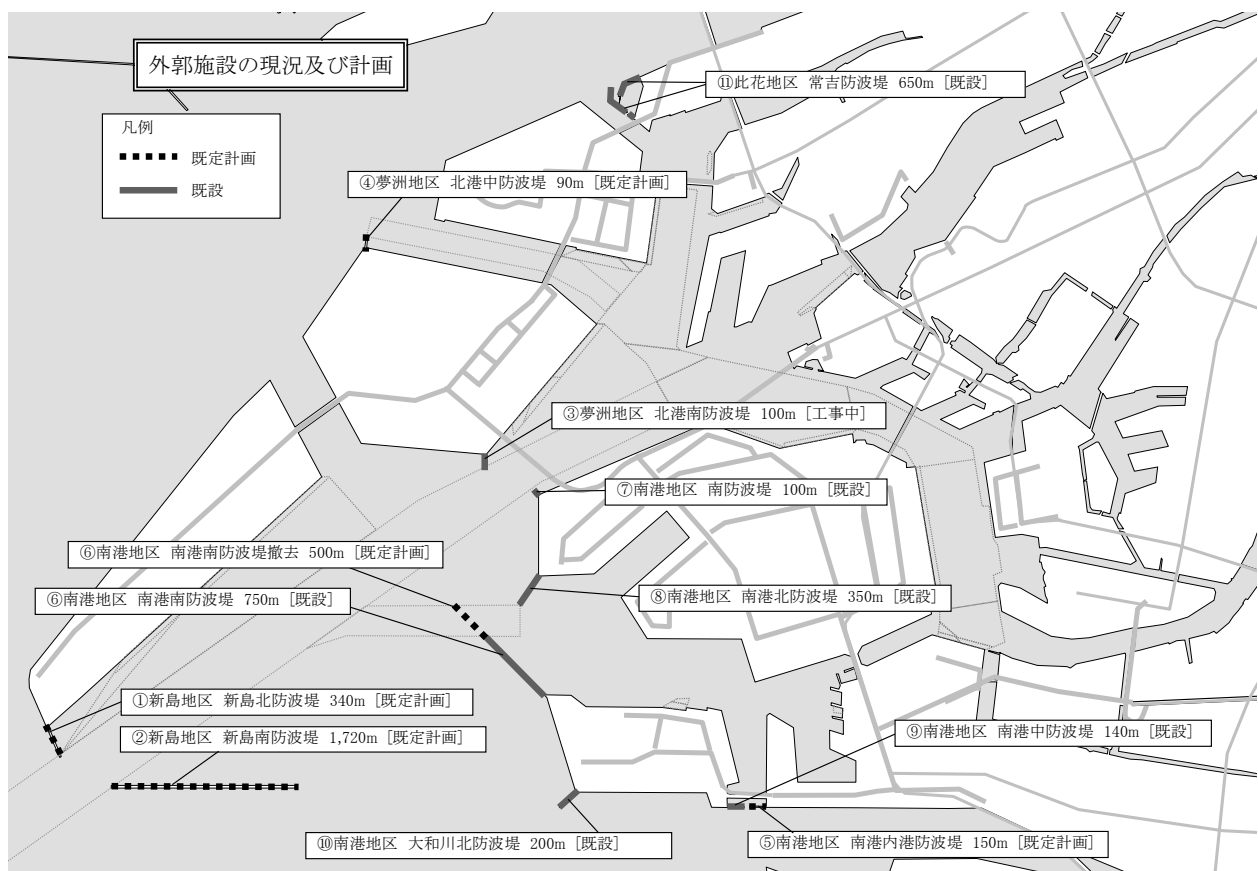
図Ⅲ－６－３ 航路・泊地計画

7 外郭施設計画

主要な外郭施設の現況及び計画は、次のとおりである。

表Ⅲ－７－１ 外郭施設の現況及び計画

地区名		名称	延長(m)	備考
新島地区	①	新島北防波堤	340	既定計画
	②	新島南防波堤	1,720	既定計画
夢洲地区	③	北港南防波堤	100	工事中
	④	北港中防波堤	90	既定計画
南港地区	⑤	南港内港防波堤	150	既定計画
	⑥	南港南防波堤	750	既定計画（1,250m 既設、500m 撤去）
	⑦	南防波堤	100	既設
	⑧	南港北防波堤	350	既設
	⑨	南港中防波堤	140	既設
	⑩	大和川北防波堤	200	既設
此花地区	⑪	常吉防波堤	650	既設



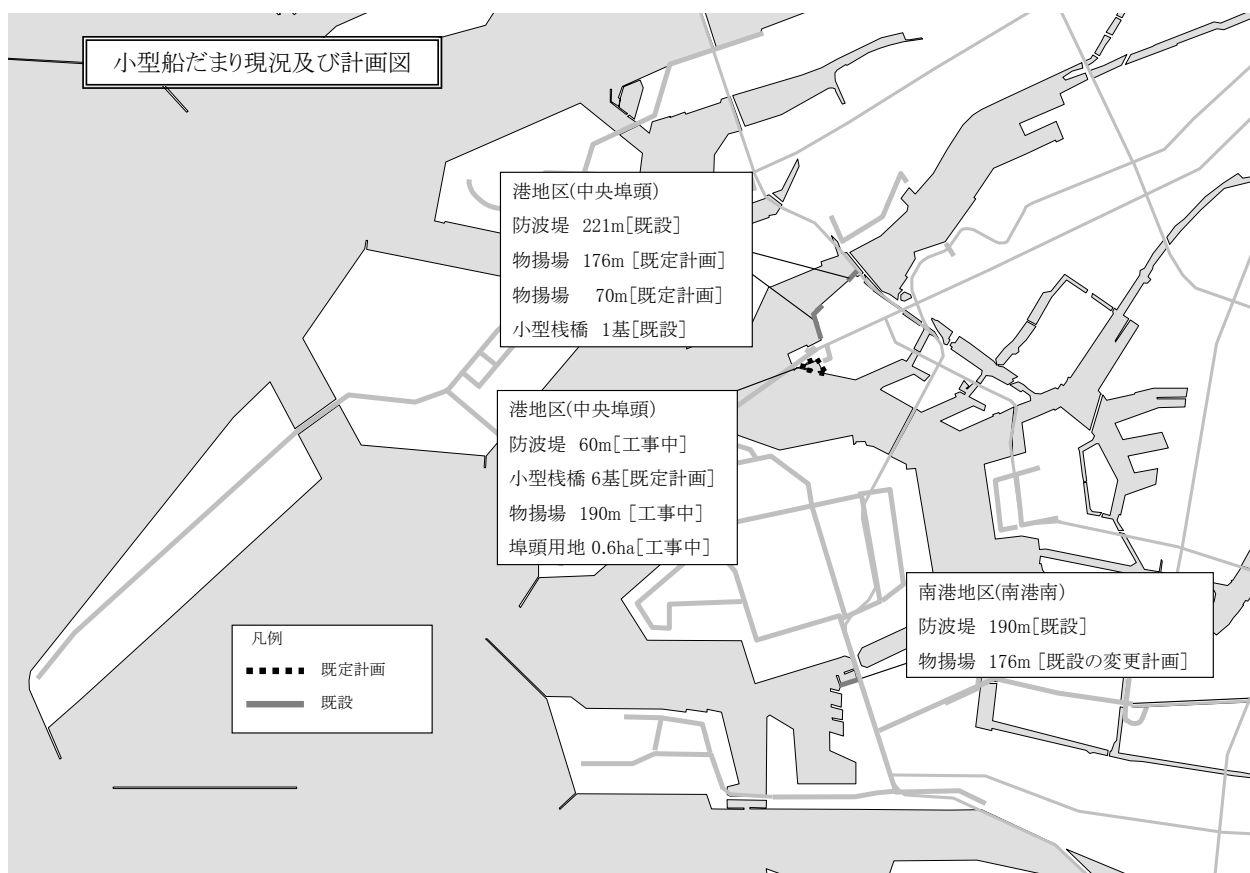
図Ⅲ－７－１ 外郭施設の現況及び計画

8 小型船だまり計画

小型船だまりの現況及び計画は、次のとおりである。

表Ⅲ－８－１ 小型船だまりの現況及び計画

地区		施設	備考
港地区	中央埠頭	防波堤 60 m	既定計画 (一部工事中)
		小型栈橋 6 基	
		物揚場(-4m) 190 m	
		埠頭用地 0.6 ha	
	中央埠頭	北海岸通船溜波除堤 221 m	既定計画 (一部既設)
		小型栈橋 1 基	
		物揚場(-3m) 176 m	
		物揚場(-4m) 70 m	
南港地区	南港南	波除堤 190 m	既設の変更計画 (一部既設)
		物揚場 176 m	



図Ⅲ－８－１ 小型船だまりの現況及び計画

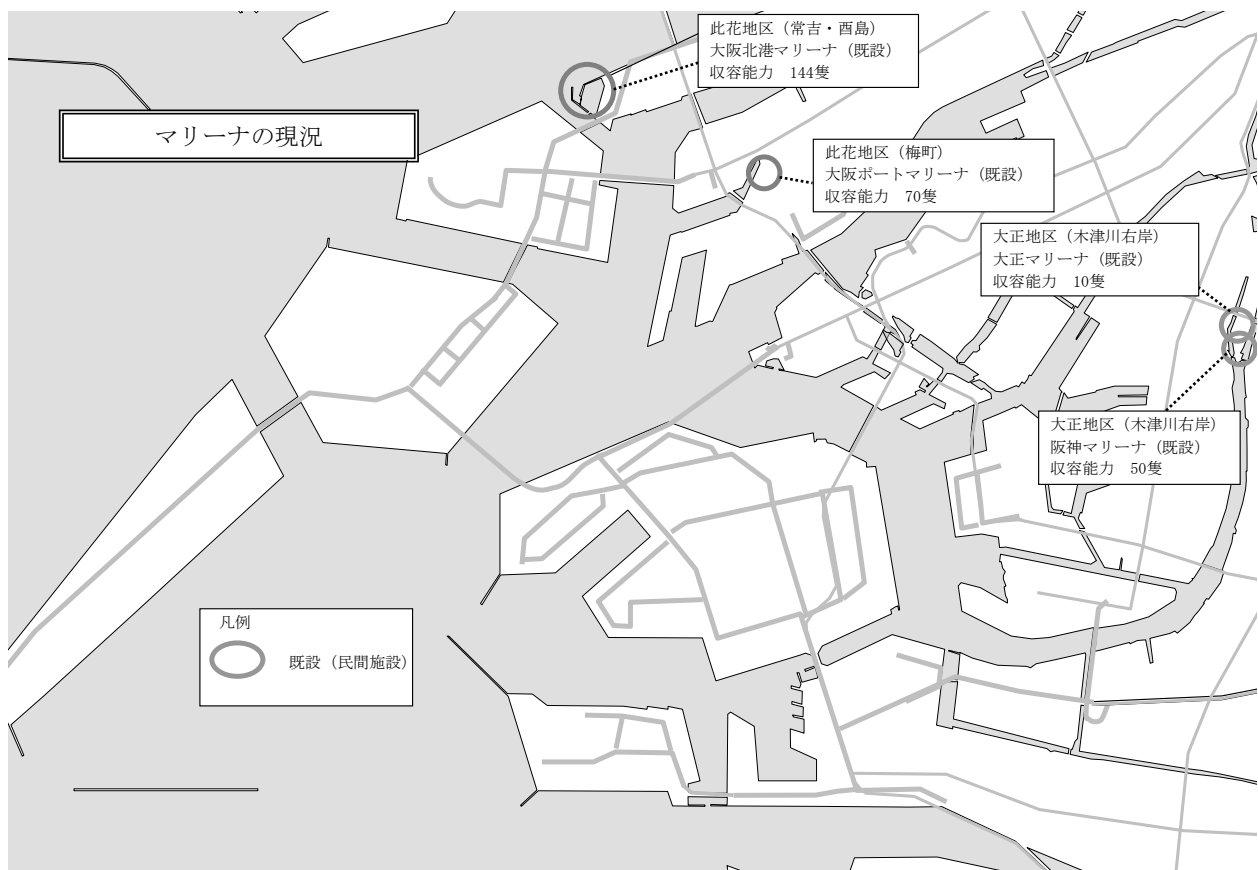
9 マリーナ計画

(1) マリーナの現況

マリーナの現況と位置は、次のとおりである。

表Ⅲ－９－１ マリーナの現況

	収容能力 (陸上保管含む)	備考
大阪北港マリーナ	144	既設
大阪ポートマリーナ	70	既設
大正マリーナ	10	既設
阪神マリーナ	50	既設
計	274	



図Ⅲ－９－１ マリーナの現況

(2) 大阪港におけるプレジャーボートの隻数予測

目標年次におけるプレジャーボートの隻数予測とその考え方は、次のとおりである。

①現状における大阪港内の係留隻数

表Ⅲ－９－２ 大阪港におけるプレジャーボートのマリーナ係留実績（平成27年度）

	係留実績(最大)		
	ヨット	モーターボート	計
大阪北港マリーナ	49	30	79
大阪ポートマリーナ	1	39	40
大正マリーナ	0	2	2
阪神マリーナ	0	15	15
計	50	86	136

その他、マリーナ以外の大阪港内水面に係留しているプレジャーボートの数は 170 隻であった。（平成27年度大阪市港湾局調べ）

②伸び率の算定

表Ⅲ－９－３ 大阪府下の各年度末における在籍船数と年伸び率

	ヨット	伸び率	モーターボート	伸び率	計	伸び率
平成22年度	777		5,277		6,054	
平成23年度	765	-1.54%	4,925	-6.67%	5,690	-6.01%
平成24年度	727	-4.97%	4,691	-4.75%	5,418	-4.78%
平成25年度	702	-3.44%	4,451	-5.12%	5,153	-4.89%
平成26年度	685	-2.42%	4,319	-2.97%	5,004	-2.89%
平成27年度	677	-1.17%	4,163	-3.61%	4,840	-3.28%
平成27年度 /平成22年度	87.1%	-2.72% 年平均	78.9%	-4.63% 年平均	79.95%	-4.38% 年平均

（日本小型船舶検査機構作成資料より）

③予測結果

②で算定した伸び率を各船種に積算して、

表Ⅲ－９－４ プレジャーボートの係留隻数予測結果

	ヨット	モーターボート	ヨット＋ モーターボート	
平成27年度 マリーナ係留隻数	50	86	－	
平成27年度 水面係留隻数	－	－	170	
年伸び率	－2.72%	－4.63%	－4.38%	計
平成38年度 推計値	38	54	104	195

以上より、平成 38 年度における予測隻数（195 隻）は、現状の収容能力（274 隻）を下回る。

（３）マリーナ計画の必要性

プレジャーボートの将来係留隻数は、既存マリーナの収容能力を下回ることが見込まれるため、新たなマリーナ施設の計画は不要である。

10 臨港交通施設計画

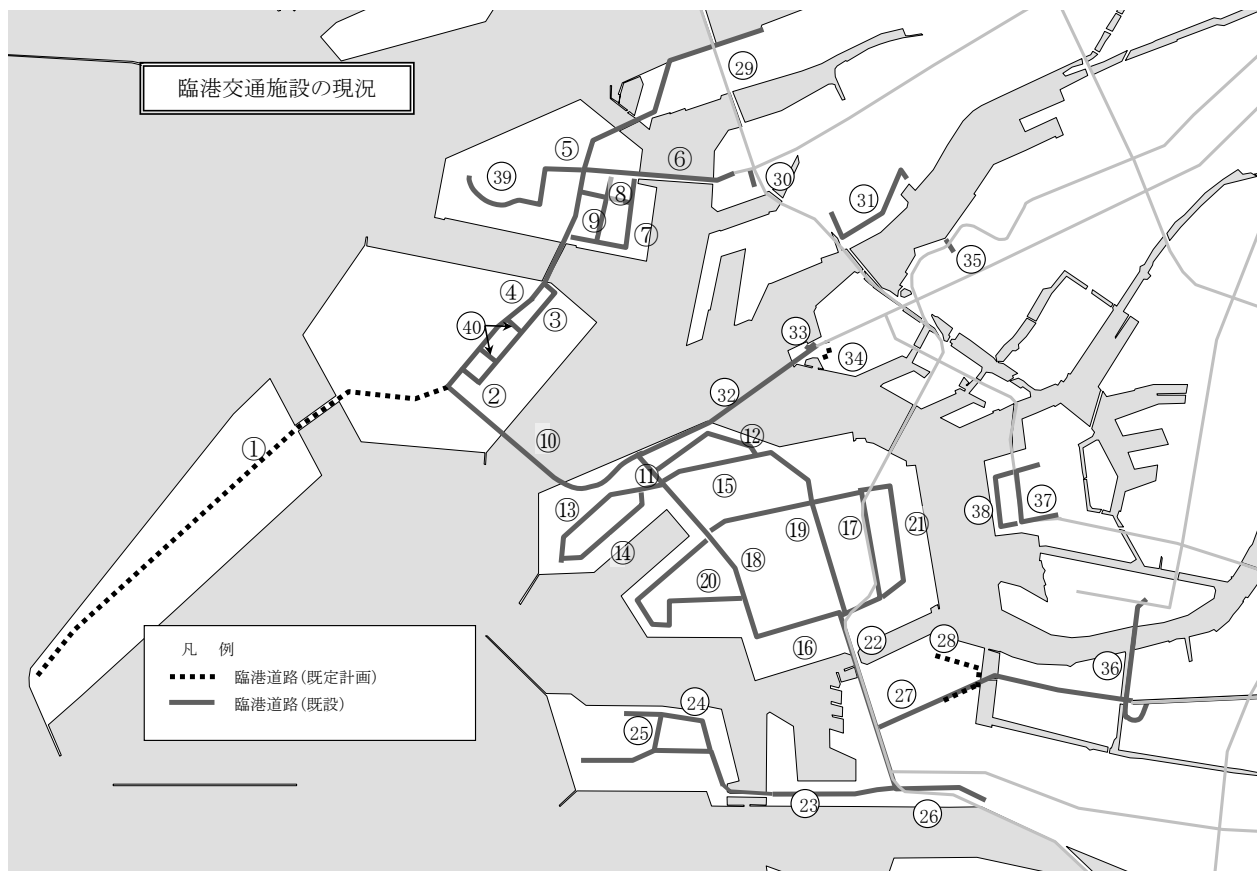
(1) 主要な臨港交通道路の現況

主要な臨港道路の現況等は、次のとおりである。

表Ⅲ－10－1 主要な臨港道路の現況等

番号	施設名	起終点	計画 車線数	現況交通量 (百台/日)	備考
①	夢洲・新島連絡線	臨港道路港区・南港・北港連絡線 新島地区	4～6	－	既定計画
②	夢洲埠頭1号線	臨港道路港区・南港・北港連絡線 臨港道路港区・南港・北港連絡線	4	－	既定計画
③	夢洲埠頭2号線	夢洲地区コンテナ埠頭 臨港道路港区・南港・北港連絡線 及び臨港道路夢洲埠頭1号線	4	－	既設
④	港区・南港・北港連絡線 (夢洲～舞洲)	夢洲地区 臨港道路此花大橋	6～8	164	既設
⑤	舞洲・常吉連絡線	臨港道路港区・南港・北港連絡線 臨港道路常吉線	2	79	既設
⑥	此花大橋	臨港道路港区・南港・北港連絡線 都市計画道路桜島守口線	4	237	既設
⑦	北港白津埠頭1号線	舞洲地区 外貿・内貿埠頭 臨港道路港区・南港・北港連絡線	4	－	工事中
⑧	北港白津埠頭2号線	北港白津埠頭1号線 臨港道路港区・南港・北港連絡線	4	－	既設
⑨	北港白津埠頭3号線	北港白津埠頭1号線 臨港道路港区・南港・北港連絡線	4	－	既設
⑩	港区・南港・北港連絡線 (南港～夢洲)	南港地区 夢洲地区	4～8	186	既設
⑪	南港北地区線	臨港道路港区・南港・北港連絡線 臨港道路北埠頭幹線	6	－	既設
⑫	南港北地区 国際フェリー線	国際フェリー埠頭 臨港道路南港北地区線 及び臨港道路南港北地区中央線	4	－	既設
⑬	北埠頭幹線	南港地区北埠頭 臨港道路環状北線	6～8	－	既設
⑭	北埠頭東西線	南港地区北埠頭 外貿埠頭 北埠頭幹線	4	－	既設
⑮	南港北地区中央線	南港地区 コンテナ埠頭 臨港道路北埠頭幹線及び臨港道路環状北線	4	－	既設
⑯	環状南線	臨港道路環状東線 臨港道路環状西線	8	－	既設
⑰	環状東線	臨港道路環状南線 臨港道路環状北線	6	－	既設
⑱	環状西線	臨港道路環状南線 臨港道路環状北線	8	－	既設
⑲	環状北線	臨港道路環状東線 臨港道路環状西線	6	－	既設

番号	施設名	起終点	計画 車線数	現況交通量 (百台/日)	備考
②①	中埠頭線	南港地区中埠頭 外貿埠頭	4	-	既設
		臨港道路環状北線及び環状西線			
②①	コンテナ幹線	南港地区 コンテナ埠頭	4	-	既設
		臨港道路環状北線及び環状東線			
②②	中央幹線	臨港道路環状北線	4～8	-	既設
		臨港道路大和川北岸線			
②③	南埠頭連絡線	臨港道路大和川北岸線	4～8	-	既定計画 (一部既設)
		南港地区南埠頭			
②④	南埠頭北線	南港地区南埠頭 内貿埠頭	4	-	既設
		臨港道路南埠頭連絡線			
②⑤	南埠頭3号線	臨港道路南埠頭北線	4	-	既設
		臨港道路南埠頭連絡線			
②⑥	大和川北岸線	臨港道路中央幹線	6	-	既設
		都市計画道路大和川北岸線			
②⑦	柴谷南港東線	臨港道路中央幹線	4	-	既設
		都市計画道路柴谷平野線			
②⑧	南港東1号線	南港地区南港東外貿埠頭	4	-	既定計画
		臨港道路柴谷南港東線			
②⑨	常吉線	臨港道路舞洲・常吉連絡線	4	-	既設
		都市計画道路正蓮寺川北岸線			
③⑩	此花内貿1号線	此花地区此花内貿1号岸壁	2	-	既設
		此花地区北港2丁目			
③⑪	桜島線	此花西部臨港緑地	2～4	-	既設
		都市計画道路此花西部1号線			
③⑫	港区・南港・北港連絡線 (港区～南港)	国道172号	4	216	既設
		臨港道路南港北地区線			
③⑬	港区中央埠頭線	港地区中央突堤北岸壁	2	-	既設
		臨港道路港区・南港・北港連絡線			
③⑭	港区中央埠頭南線	港地区中央埠頭物揚場	2	-	既定計画
		国道172号			
③⑮	安治川第1号岸壁線	港地区安治川第1号岸壁	2	-	既設
		市道港区第26号線			
③⑯	新木津川大橋	都市計画道路柴谷平野線	2	-	既設
		大正区船町			
③⑰	鶴浜1号線	臨港道路鶴浜2号線	2～4	-	既設
		市道鶴浜通筋線			
③⑱	鶴浜2号線	大正地区旅客線埠頭	2	-	既設
		臨港道路鶴浜1号線			
③⑲	舞洲緑地線	舞洲地区舞洲緑地	2～4	-	既設
		臨港道路港区・南港・北港連絡線			
④⑩	臨海部物流拠点の形成を 図る区域内の臨港道路	臨港道路港区・南港・北港連絡線	4	-	既設
		夢洲埠頭2号線			



図Ⅲ－１０－１ 臨港交通施設の現況

（２）臨港道路計画の必要性

大阪港の国際競争力の強化を図るうえで、港湾と背後地を円滑に結ぶ道路網が不可欠であり、これまで、埠頭間の連絡や背後地の幹線道路への連絡のための道路の整備拡充に努めてきた。

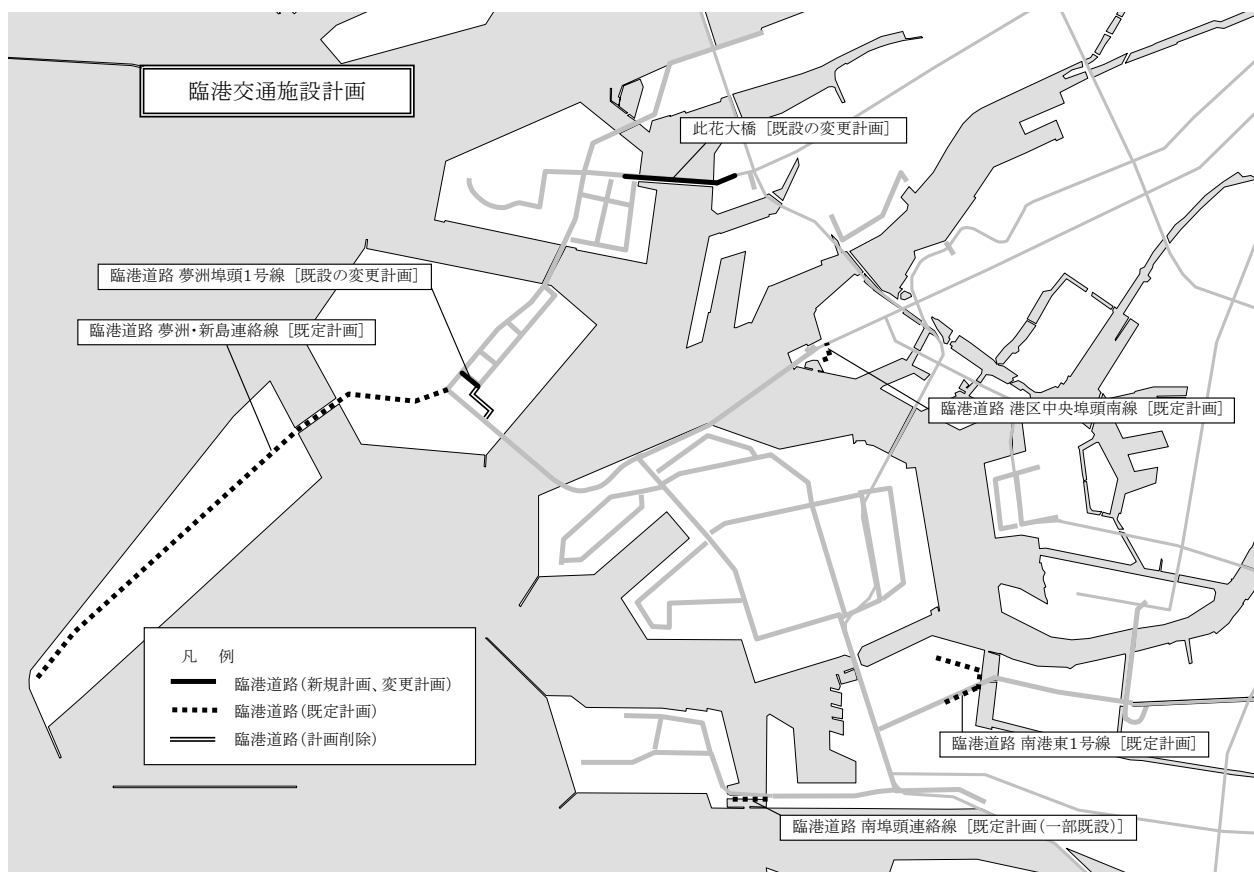
今回、此花大橋における推計交通量の増加により、車線数の見直しを行うとともに、夢洲地区の土地利用計画の変更により、臨港道路の配置を変更する。

（３）今回計画する臨港道路の規模及び配置

今回計画する臨港道路の交通量、規模及び配置の考え方は、次のとおりである。

表Ⅲ－１０－２ 今回計画する臨港道路の規模及び配置

施設名	起終点	車線数	配置の考え方	備考
臨港道路此花大橋	臨港道路港区・南港・北港連絡線 都市計画道路桜島守口線	6	推計交通量（31,300台/日） から車線数を変更	既設の変更計画
臨港道路夢洲埠頭1号線	臨港道路港区・南港・北港連絡線 臨港道路夢洲埠頭2号線	4	土地利用計画の変更に伴う 配置の変更	既設の変更計画
臨港道路 夢洲・新島連絡線	臨港道路港区・南港・北港連絡線 新島地区	4～6	—	既定計画
臨港道路 港区中央埠頭南線	港地区中央埠頭物揚場 国道172号	2	—	既定計画
臨港道路 南埠頭連絡線	臨港道路大和川北岸線 南港地区南埠頭	8	—	既定計画 （うち一部既設）
臨港道路 南港東1号線	南港地区南港東外貿埠頭 臨港道路柴谷南港東線	4	—	既定計画



図Ⅲ－１０－２ 臨港交通施設計画

IV. 港湾の環境の整備及び保全に関する資料

1 廃棄物処理計画

(1) 港湾における廃棄物処理場の現況

港湾における廃棄物処理の現況は、次のとおりである。

表Ⅳ－１－１ 港湾における廃棄物処理の現況

地 区		面積 (ha)	状 況		処分容量 (万m ³)	処分実績 (万m ³)※ ¹	残余容量 (万m ³)	
			施設	受入				
舞 洲 地 区	1区	57	既設	終了	911	911	0	
	2,3区	147	既設	終了	1,944	1,944	0	
	計	204			2,855	2,855	0	
夢 洲 地 区	1区	73	既設	継続	1,169	985	184	
	2,3区	215	既設	継続	4,717	4,374	343	
	計	288			5,886	5,359	527	
新 島 地 区	1区	95	既設	継続	1,400	450	950	
	2-1区	60	工事中	計画	1,272	0	1,272	
	2-2区	49	工事中	計画	1,028	0	1,028	
	3区	82	計画	計画	1,200	0	1,200	
	計	286			4,900	450	4,450	
合 計			778			13,641	8,664	4,977

※平成29年度末現在



図Ⅳ－１－１ 廃棄物処分地位置図

（２）港湾における廃棄物処理の必要性

現在、市街化、密集化した大阪市域をはじめ周辺の市町村の高密度化した内陸部においては、廃棄物最終処分場の確保が困難であるため、大阪市内から発生する一般廃棄物、港湾・河川域の浚渫工事や市内公共工事から発生する浚渫土砂・建設残土等、循環利用できない廃棄物等の適正な処分を海面埋立に頼らざるを得ない状況にある。廃棄物の海面埋立については、都市環境の保全、公害防止に資することを目的として、舞洲地区を始めに、夢洲地区、新島地区と順次整備を進めている。

また、新島地区（１区）は、大阪湾圏域の近畿２府４県１６８市町村から発生する廃棄物を海面埋立により適正に処理する「フェニックス事業」の大阪沖埋立処分場として整備している。舞洲地区は既に廃棄物の受入を終了しており、夢洲地区も受入の残容量は逼迫している状況である。新島地区の受入が開始されているが、リサイクルや廃棄物の減量化等の施策を推進するなど極力延命化が図れるよう取り組んでいる。

（３）港湾において処分する廃棄物の種類及び量

港湾において処分することが必要となる廃棄物処分量は次のとおりである。

表Ⅳ－１－２ 港湾において処分する廃棄物の種類及び量

種類	種別	処分必要量 (万m ³)	処分必要量の考え方
一般廃棄物 産業廃棄物	管理型	2,289	内陸部では、廃棄物の最終処分場を新たに確保することが困難な状況であることから、臨海部に海面処分場を確保するとともに、長期に渡り安定的な処分を可能とする量を設定する。
浚渫土砂/ 陸上残土	管理型	280	
	安定型	8,217	
計		10,786	

2 港湾環境整備施設計画

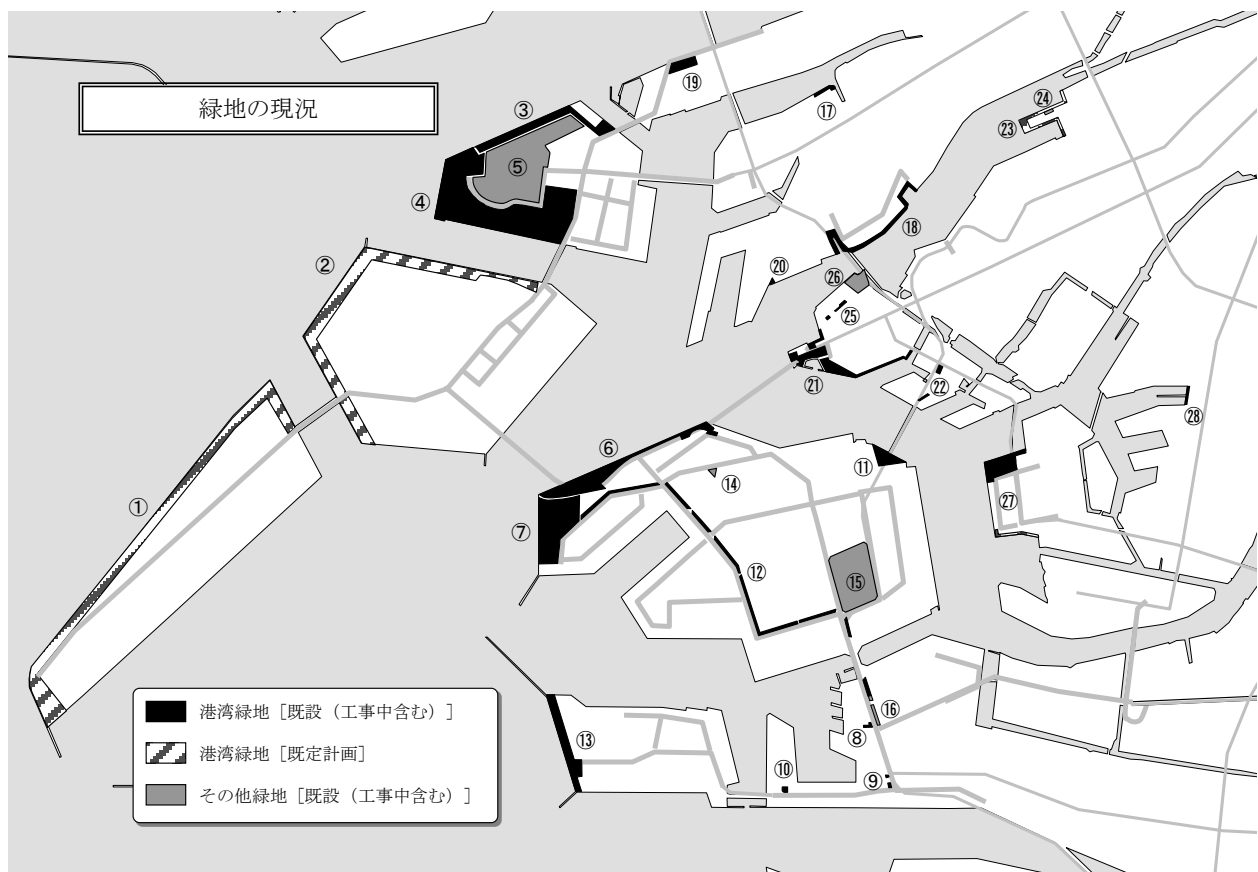
(1) 緑地の現況

緑地の現況は、次のとおりである。

表Ⅳ－２－１ 緑地の現況

地区名	位置	緑地名	既定計画	状況	主な用途	備考
新島	①	新島緑地	37.9ha	既定計画	シンボル、休息、修景、親水	
		計	37.9ha			
夢洲地区	②	夢洲緑地	35.8ha	既定計画	緩衝、修景、親水、環境保全緑地	
		計	35.8ha			
舞洲地区	③	舞洲緑道	8.8ha	既設	スポーツ・レクリエーション、親水、環境保全緑地	
	④	舞洲緑地	53.6ha	既設	シンボル、休息、スポーツ・レクリエーション、親水緑地	工事中
	⑤	舞洲緑地（その他緑地）	50.5ha	既設	その他緑地	工事中
		計	112.9ha			
南港地区	⑥	南港北緑地	18.9ha	既設	シンボル、休息、環境保全、歴史的緑地	工事中
	⑦	大阪南港野鳥園	20.1ha	既設	環境保全緑地	
	⑧	フェリー前臨港緑地	0.9ha	既設	休憩、定期船発着場等緑地	
	⑨	南港南臨港緑地	0.2ha	既設	休息緑地	
	⑩	かもめ臨港緑地	0.4ha	既設	休息緑地	
	⑪	港大橋臨港緑地	3.8ha	既設	休息緑地	
	⑫	南港緑道	7.8ha	既設	緩衝緑地	
	⑬	南埠頭緑地	7.5ha	既設	休息、スポーツ・レクリエーション緑地、親水緑地	
	⑭	元ふれあい港館（その他緑地）	0.6ha	既設	その他緑地	
	⑮	南港中央公園（その他緑地）	22.4ha	既設	その他緑地	
	⑯	南港東地区緑地（その他緑地）	0.7ha	既設	その他緑地	
		計	83.3ha			
此花地区	⑰	此花西部臨港緑地	0.9ha	既設	休息、親水緑地	
	⑱	此花西部臨港緑地	5.3ha	既設	休息、修景、親水、防災緑地	うち4.4ha工事中
	⑲	常吉臨港緑地	2.6ha	既設	休息緑地	
	⑳	桜島臨港緑地	0.1ha	既設	休息緑地	
		計	8.9ha			
港地区	㉑	築港緑地	8.5ha	既設	シンボル、休息、修景、親水、防災緑地	工事中
	㉒	第一突堤臨港緑地	0.7ha	既設	休息緑地	
	㉓	弁天緑地	1.8ha	既定計画	親水緑地	
	㉔	弁天埠頭公園（その他緑地）	0.3ha			
	㉕	天保山臨港緑地	0.4ha	既設	休息緑地	
	㉖	天保山公園（その他緑地）	2.1ha	既設	その他緑地	
		計	13.8ha			
大正地区	㉗	鶴浜緑地	6.4ha	既定計画	休息、修景、親水、防災緑地	うち5.5ha工事中
	㉘	大正内港臨港緑地	0.4ha	既設	休息緑地	
		計	6.8ha			
合計			299.4ha			

※その他緑地は港湾環境整備施設計画に位置付けないため、参考表示



※その他緑地は港湾環境整備施設計画に位置付けないため、参考表示

図Ⅳ－２－１ 緑地の現況

(2) 緑地計画の必要性

市民が自然に親しむことができる、快適で魅力ある水辺空間を創出するとともに、良好な港湾環境の保全、創出のため、緑地を計画する。

夢洲、新島地区等の新臨海部では、西及び北側の水際線において、連続した大規模な緑地を配置し、築港、鶴浜地区等の在来臨海部においては、再開発に合わせ、親水緑地等、市民が水辺に近づき、親しむことができる空間を確保し、海や港の魅力を身近に感じられる水辺空間を形成する。さらに夢洲地区西部では、開放的な眺望を確保できるエリアとして、広々としたみどり豊かな憩いの空間とし、夢洲で営まれる様々な都市活動と連携した空間を創出する。

また、各緑地の利用状況を踏まえ、一部の施設を緑地以外の用途へ変更する。

(3) 今回計画する緑地の規模及び配置

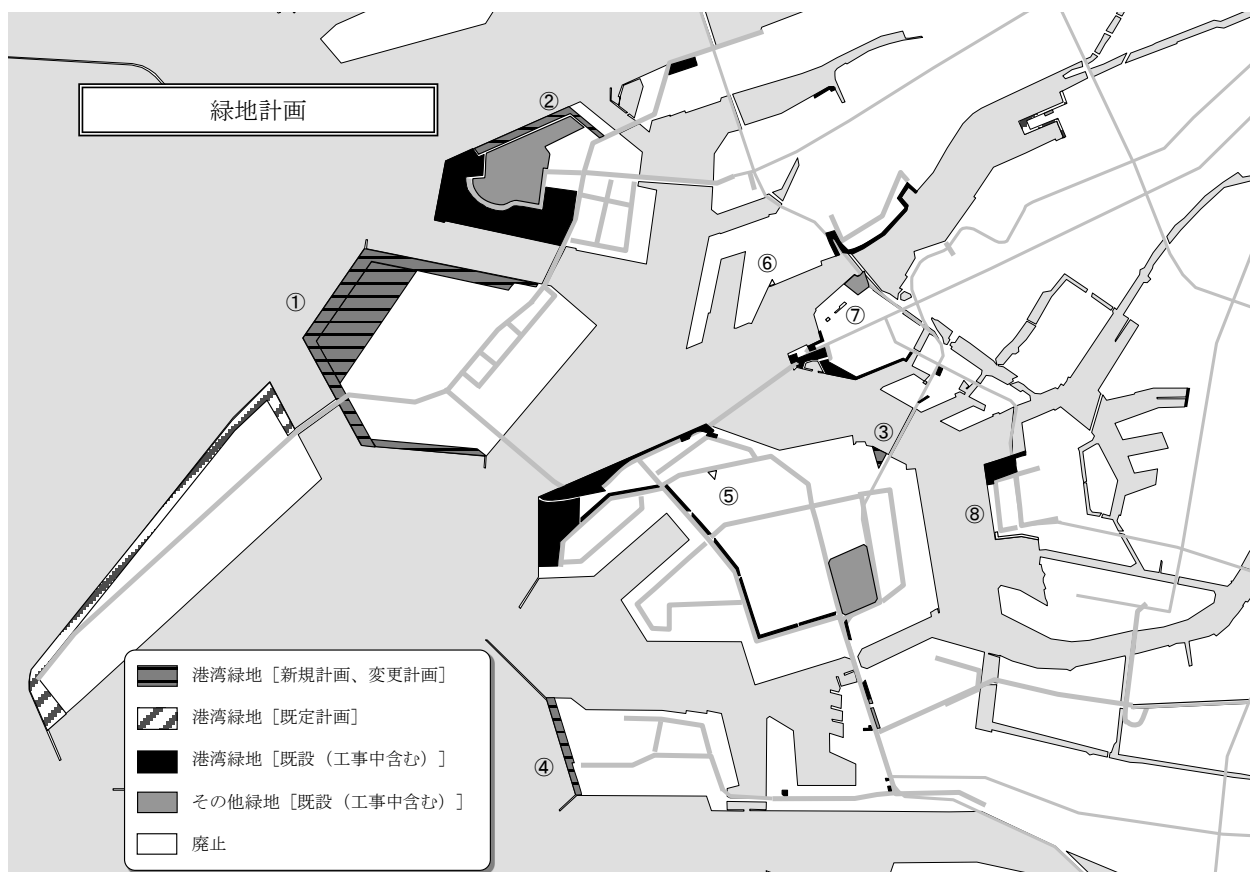
今回計画する緑地の規模及び配置は、次のとおりである。

なお、夢洲緑地については、将来構想（係留施設）の具体化や、それにあわせた「利用形態の見直しの検討が必要な区域」としている緑地の今後の見直し内容も踏まえ、当該区域以外の緑地についても海上輸送需要に応じた適切な機能の確保の観点から、緑地以外の用途への変更も検討していくこととする。

表Ⅳ－２－２ 緑地の規模及び配置

地区名	位置	緑地名	今回計画	主な用途	規模及び配置の考え方
夢洲地区	①	夢洲緑地	93.6ha	緩衝、修景、親水、環境保全緑地	既定計画における緩衝等の機能に加え、広々としたみどり豊かな憩いの空間の確保に対応する計画に変更する。
		計	93.6ha		
舞洲地区	②	舞洲緑道	6.8ha	スポーツ・レクリエーション、親水、環境保全緑地	大阪府所有部分について、都市機能用地に変更する。
		計	6.8ha		
南港地区	③	港大橋臨港緑地	1.8ha	休息緑地	コンテナ車両を収容する待機場として、東側部分を交通機能用地に変更する。
	④	南埠頭緑地	5.8ha	休息、スポーツ・レクリエーション緑地、親水緑地	周辺土地需要に対応するため、一部を港湾関連用地に変更する。
	⑤	元ふれあい港館（その他緑地）	0.0ha	その他緑地	現状及び将来的にも都市的利用が見込まれるため、都市機能用地に変更する。
		計	7.6ha		
此花地区	⑥	桜島臨港緑地	0.0ha	休息緑地	物流関連用途への転換を想定し、港湾関連用地に変更する。
		計	0.0ha		
港地区	⑦	天保山臨港緑地	0.0ha	休息緑地	隣接区画と同様に交流厚生用地に変更する。
		計	0.0ha		
大正地区	⑧	鶴浜緑地	5.5ha	休息、修景、親水、防災緑地	未整備である南側緑地の全域を、直背後と一体的に利用するため港湾関連用地に変更する。
		計	5.5ha		

※新島緑地、弁天緑地は既定計画どおりとする。



※その他緑地は港湾環境整備施設計画に位置付けないため、参考表示

図Ⅳ－２－２ 緑地計画

V. 土地造成及び土地利用計画に関する資料

1 土地造成計画

土地造成計画は次のとおりである。

表V－１－１ 土地造成計画

	埠頭用地	港湾関連 用地	交流厚生 用地	工業用地	都市機能 用地	交通機能 用地	危険物取扱 施設用地	緑地	合計
新島地区	(37.9) 37.9	(31.0) 31.0				(4.9) 4.9		(11.1) 11.1	(84.9) 84.9
南港地区	(5.0) 5.0	(10.4) 10.4							(15.4) 15.4
合計	(42.9) 42.9	(41.4) 41.4				(4.9) 4.9		(11.1) 11.1	(100.3) 100.3

2 土地利用計画

(1) 土地利用計画の変更

今回計画により土地利用計画の変更を行う地区における土地利用の変更理由は以下に示すとおりである。

表V-2-1 土地利用計画の変更

		既定計画		今回計画		変更理由
		土地利用区分	面積 (ha)	土地利用区分	面積 (ha)	
夢洲地区		港湾関連用地	5.1	埠頭用地	5.1	夢洲コンテナ埠頭の機能を強化し、コンテナ貨物量の増加に対応するため。
		交通機能用地	1.3	埠頭用地	1.3	
		緑地	1.6	港湾関連用地	1.6	夢洲中央部において、大阪の経済成長をけん引する国際観光拠点の形成を目指すため。
		工業用地	14.7	港湾関連用地	14.7	
		都市機能用地	1.2	港湾関連用地	1.2	
		港湾関連用地	5.0	都市機能用地	5.0	
		工業用地	40.2	都市機能用地	40.2	
		工業用地	1.5	緑地	1.5	夢洲西部において、広々としたみどり豊かな憩いの空間を確保するため。
		港湾関連用地	15.9	交流厚生用地	15.9	
		港湾関連用地	5.8	緑地	5.8	
		工業用地	15.9	緑地	15.9	
		都市機能用地	36.1	緑地	36.1	
		計	144.3	計	144.3	
舞洲地区		緑地	2.0	都市機能用地	2.0	大阪府所有の土地であり緑地としての整備は見込まれないため。
		港湾関連用地	0.1	埠頭用地	0.1	隣接する埠頭用地と一体的に利用されており、将来的にも一体的な利用が見込まれるため。
		埠頭用地	1.2	港湾関連用地	1.2	前面物揚場の計画廃止に伴って埠頭用地の必要性が低下。一方、周辺では民間物流施設の集積が進んでおり、これらの土地需要に対応するため。
		計	3.3	計	3.3	
南港地区	南港北地区	交流厚生用地	1.8	港湾関連用地	1.8	ふれあい港館第2期計画の位置付けがあったが、その計画は無くなり、また暫定利用として立地していた音楽ホールが撤退したため。
		その他緑地	0.6	都市機能用地	0.6	ふれあい港館に代わって現在は専門学校が立地しており、将来的にも都市的な利用に供することが見込まれるため。
	南港東地区	緑地	2.0	交通機能用地	2.0	南港コンテナターミナルC1-4では、ゲート待ちコンテナ車両の滞留列が発生し一般車両の交通を阻害することがあるため、これらのコンテナ車両を収容する車両待機場を整備するため。
		港湾関連用地	3.2	都市機能用地	3.2	工場、ガソリンスタンド、コンビニ等が立地しているなど港湾利用が低下しており、今後港湾利用が増えることも見込み難いため。
	北埠頭地区	埠頭用地	2.6	港湾関連用地	2.6	R3-5を貨物埠頭からフェリー埠頭へ転換したことにより、埠頭用地の必要面積が減少。一方、周辺では民間物流施設の集積が進んでおり、これらの土地需要に対応するため。
	南埠頭地区	緑地	1.7	港湾関連用地	1.7	大阪南港海水遊泳場は既に廃止されており、今後緑地としての利用は見込み難いという状況。一方、周辺では民間物流施設の集積が進んでおり、これらの土地需要に対応するため。
		計	11.9	計	11.9	

	既定計画		今回計画		変更理由
	土地利用区分	面積 (ha)	土地利用区分	面積 (ha)	
大正地区	交通機能用地	4.9	交流厚生用地	4.9	大阪メトロ長堀鶴見緑地線が延伸された時の車庫用地として交通機能用地と位置付けていたが、延伸計画精査の結果、車庫機能は既存車庫に集約可能で鶴浜車庫は不要となり、当該地はIKEA等が立地している西隣区画と一体となった商業ゾーンの形成を目指すため。
	緑地	0.9	港湾関連用地	0.9	土地利用が進む周辺と調和のとれた商業・業務機能の導入を目指すため。
	計	5.8	計	5.8	
港地区	緑地	0.4	交流厚生用地	0.4	既に緑地施設としては廃止済みであり、現在は隣接区画と合わせて株式会社海遊館へ賃貸している部分であるため。
	港湾関連用地	0.8	都市機能用地	0.8	住宅等が立地しており、今後も港湾利用は見込み難いため。
	港湾関連用地	0.1	都市機能用地	0.1	認定道路である当該部分は港湾関連用地としていたが、今回、西隣の都市機能用地の一部について臨港地区を解除するにあたり、都市機能用地に変更して臨港地区を解除する。
	— (港湾区域)	0.9	都市機能用地	0.9	入掘の入口部分を防潮堤で閉鎖することで陸域化される入掘内部を、都市機能用地とする。
此花地区	計	2.2	計	2.2	
	緑地	0.1	港湾関連用地	0.1	緑地施設利用者が少なく、緑地の必要性が低下していると認められ、物流関連用途への転換を想定するため。
	都市機能用地	1.0	工業用地	1.0	隣接する工業用地と一体的に利用されており、将来的にも一体的な利用が見込まれるため。
住之江地区	計	1.1	計	1.1	
	港湾関連用地	0.3	都市機能用地	0.3	住宅が立地しているなど港湾利用が低下しており、今後港湾利用が増えることも見込み難いため。
	計	0.3	計	0.3	
合計		168.9		168.9	

(2) 土地利用計画

土地利用計画の変更後と変更前は次のとおりである。

表 V-2-2 変更後の土地利用計画

(単位:ha)

	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱施設用地	緑地	合計
新島地区	(84.9) 84.9	(90.4) 90.4				(21.4) 21.4	(65.0) 65.0	(37.9) 37.9	(299.7) 299.7
夢洲地区	(73.9) 73.9	(81.3) 81.3	(15.9) 15.9		100.4	(25.9) 25.9		(93.6) 93.6	(290.7) 391.1
舞洲地区	(19.0) 19.0	(21.0) 21.0			46.0	(22.7) 22.7		(60.4) 110.9	(123.1) 219.6
南港地区	(193.8) 193.8	(404.2) 404.2		(45.8) 45.8	134.2	(99.7) 102.3		(55.9) 79.0	(799.4) 959.3
此花地区	(12.1) 12.1	(165.3) 165.3	(18.2) 18.2	(167.0) 167.0	98.2	(16.9) 37.0		(8.8) 8.8	(388.3) 506.6
港地区	(24.5) 24.5	(108.8) 108.8	(18.3) 18.3	(42.0) 42.0	15.8	(0.6) 21.5		(11.0) 13.4	(205.2) 244.2
大正地区	(17.2) 17.2	(27.2) 27.2	(15.2) 15.2	(237.6) 237.6	9.4	(4.1) 13.7		(5.9) 5.9	(307.2) 326.2
住之江地区		(140.7) 140.7		(70.1) 70.1	4.7	(3.3) 10.6			(214.1) 226.1
西地区		(0.4) 0.4			12.1				(0.4) 12.5
浪速地区					4.3				4.3
西成地区		(4.0) 4.0		(32.2) 32.2	1.4				(36.2) 37.6
合計	(425.4) 425.4	(1,043.4) 1,043.4	(67.6) 67.6	(594.7) 594.7	426.6	(194.6) 255.1	(65.0) 65.0	(273.5) 349.5	(2,664.1) 3,227.2

注1) ()内は港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

表 V-2-3 変更前の土地利用計画

(単位:ha)

	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱施設用地	緑地	合計
新島地区	(84.9) 84.9	(90.4) 90.4				(21.4) 21.4	(65.0) 65.0	(37.9) 37.9	(299.7) 299.7
夢洲地区	(67.5) 67.5	(95.8) 95.8		(72.2) 72.2	92.5	(27.2) 27.2		(35.8) 35.8	(298.5) 391.1
舞洲地区	(20.0) 20.0	(20.0) 20.0			44.0	(22.7) 22.7		(62.4) 112.9	(125.1) 219.6
南港地区	(196.4) 196.4	(401.3) 401.3	(1.8) 1.8	(45.8) 45.8	130.4	(97.7) 100.3		(59.6) 83.3	(802.6) 959.3
此花地区	(12.1) 12.1	(165.2) 165.2	(18.2) 18.2	(166.0) 166.0	99.2	(16.9) 37.0		(8.9) 8.9	(387.3) 506.6
港地区	(24.5) 24.5	(109.7) 109.7	(17.9) 17.9	(42.0) 42.0	14.0	(0.6) 21.5		(11.4) 13.8	(206.1) 243.4
大正地区	(17.2) 17.2	(26.3) 26.3	(10.3) 10.3	(237.6) 237.6	9.4	(9.0) 18.6		(6.8) 6.8	(307.2) 326.2
住之江地区		(141.0) 141.0		(70.1) 70.1	4.4	(3.3) 10.6			(214.4) 226.1
西地区		(0.4) 0.4			12.1				(0.4) 12.5
浪速地区					4.3				4.3
西成地区		(4.0) 4.0		(32.2) 32.2	1.4				(36.2) 37.6
合計	(422.6) 422.6	(1,054.1) 1,054.1	(48.2) 48.2	(665.9) 665.9	411.8	(198.8) 259.3	(65.0) 65.0	(222.8) 299.4	(2,677.4) 3,226.3

注1) ()内は港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

3 海浜計画

(1) 海浜の現況

海浜の現況は、次のとおりである。

表V-3-1 海浜の現況

地区名	位置	名称	延長	状況	主な用途	備考
新島地区	A	新島海浜	920m	既定計画	磯浜	
夢洲地区	B	夢洲海浜	1,700m	既定計画	海浜、干潟	うち500m工事中
舞洲地区	C	舞洲人工磯	1,000m	既設	磯浜	
南港地区	D	南港海浜	750m	既定計画		
合計			4,370m			

(2) 海浜計画の考え方

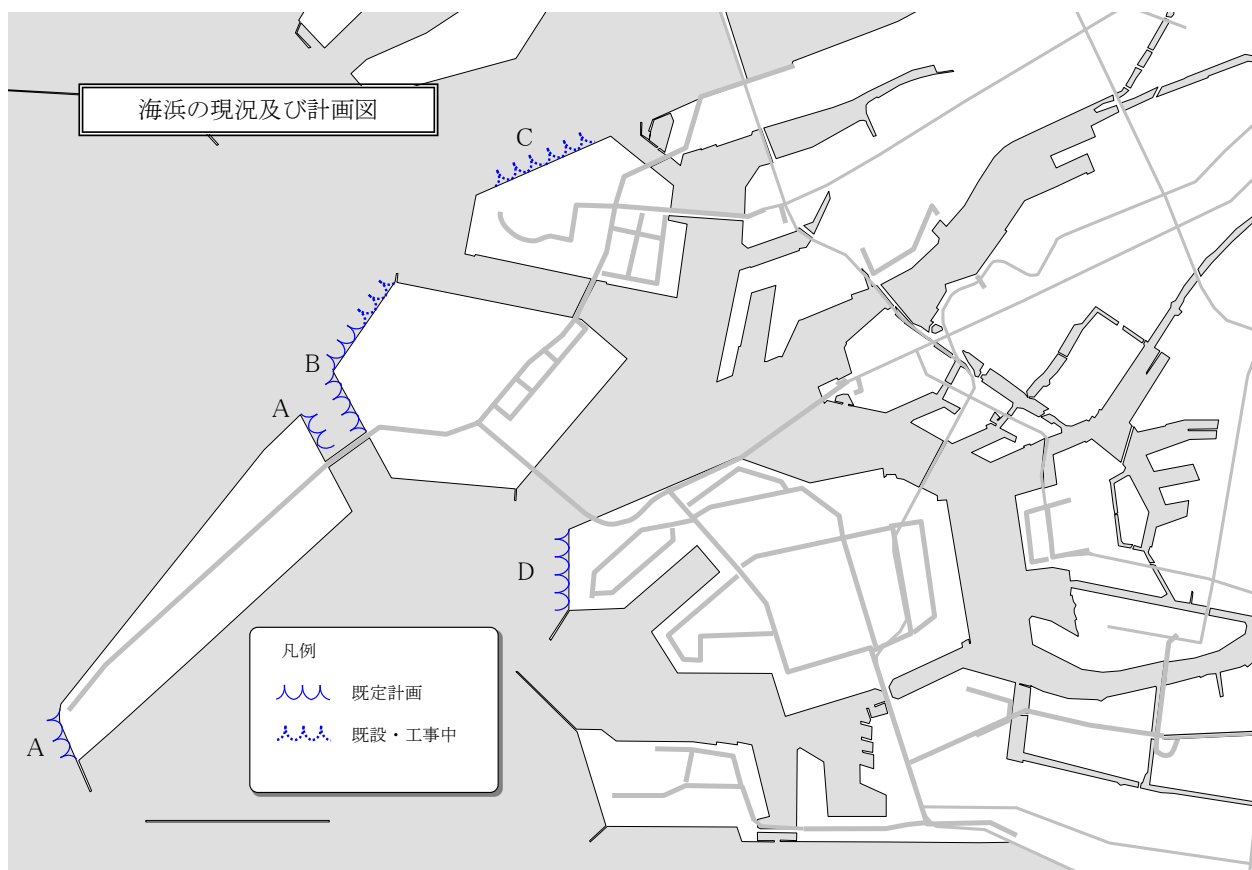
市民が自然に親しむことができる魅力ある水辺空間を創出するとともに、良好な港湾環境の保全、創出のため、海浜を計画する。

(3) 今回計画する海浜の規模及び配置

今回計画する海浜の規模及び配置の考え方は、次のとおりである。

表V-3-2 海浜の規模及び配置の考え方

地区名	位置	名称	延長	状況	主な用途	規模・配置の考え方
			既定計画			
新島地区	A	新島海浜	920m	既定計画	磯浜	既定計画どおり
夢洲地区	B	夢洲海浜	1,700m	既定計画	海浜、干潟	既定計画どおり
南港地区	D	南港海浜	750m	既定計画		既定計画どおり



図V－3－1 海浜の現況及び計画

4 臨港地区の範囲

大阪港の臨港地区は、昭和 40 年 1 月 13 日建設省告示第 37 号により指定され、平成 30 年 4 月現在、大阪港における臨港地区指定面積は、1979.1ha である。

今後、港湾の管理運営を円滑に行うために必要と考えられる臨港地区（港湾管理者の案）は次のとおりである。

なお、その一部については、臨海部活性化の観点から、今後、臨港地区の再検討を行う。

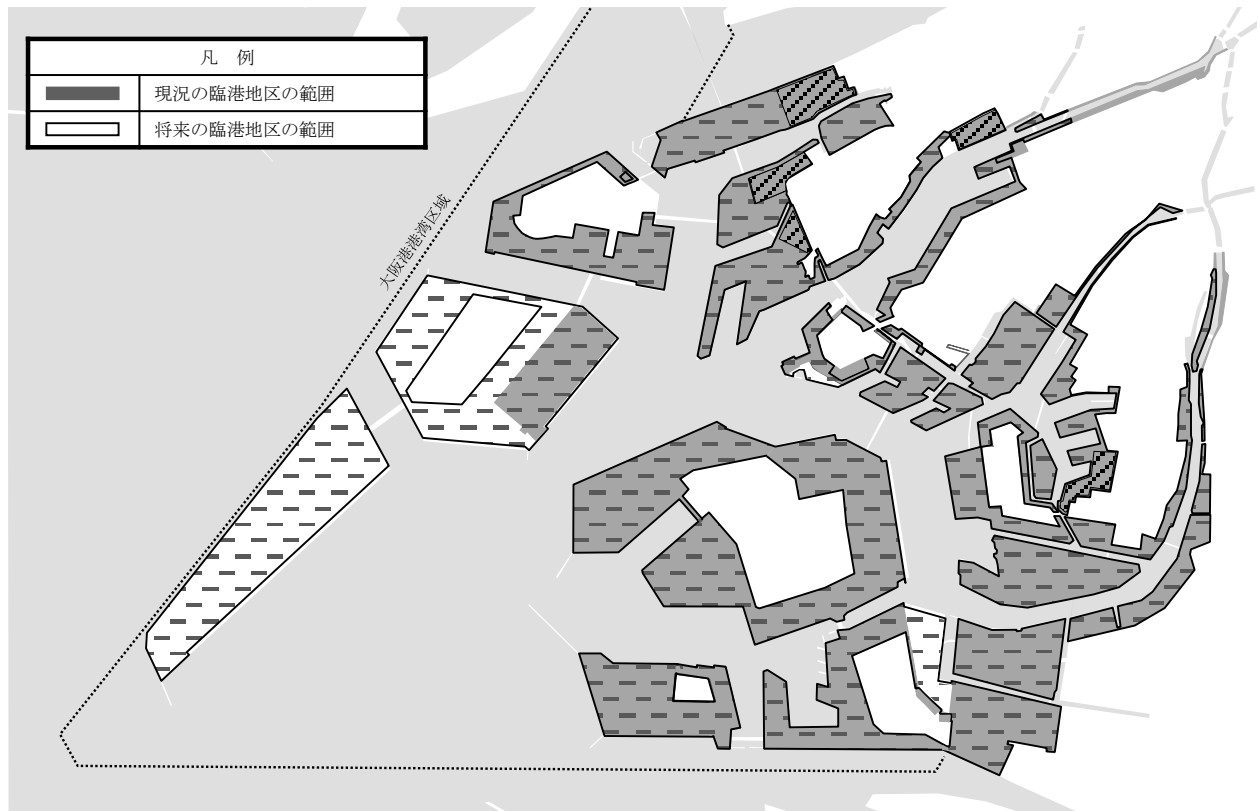


図 V - 4 - 1 現況及び将来の臨港地区の範囲

注) 斜線の区域は、現在、臨港地区に指定されているが、港湾管理者として予定臨港地区の再検討が必要と考えている区域である。なお、実際の臨港地区の見直しについて、関係機関の同意を得たものではない。

VI. 港湾の効率的な運営に関する事項

1 効率的な運営を特に促進する区域

コンテナ船及び内貿フェリーにより運送される貨物を取り扱う以下の埠頭について、効率的な運営を特に促進するよう措置することを計画する。(法(昭和 25 年法律第 218 号)) 第 43 条の 11 第 1 項の規定に基づく港湾運営会社によるものを含む。)

夢洲地区

水深 15～16m 岸壁 3 バース 延長 1,350m (コンテナ船用) [既設の変更計画] C10～12
埠頭用地 74ha (荷捌施設用地及び保管施設用地)
(うち 57ha 既設、11ha 工事中) [既設の変更計画]

南港地区(南港東)

水深 13m 岸壁 4 バース 延長 1,400m (コンテナ船用) [既設] C1～4
埠頭用地 49ha (荷捌施設用地及び保管施設用地) [既設]

南港地区(南港北)

水深 14m 岸壁 1 バース 延長 350m (コンテナ船用) [既設] C8
水深 14m 岸壁 1 バース 延長 350m (コンテナ船用) [既定計画] C9
水深 10m 岸壁 2 バース 延長 450m (コンテナ船用) [既設] KF1, 2
埠頭用地 31ha (荷捌施設用地及び保管施設用地) [既設]

南港地区(北埠頭)

水深 7.5m 岸壁 2 バース 延長 520m [既定計画の変更計画] R4, 5
埠頭用地 8ha (旅客施設用地、荷捌施設用地及び保管施設用地)
[既設の変更計画]

南港地区(南港南)

水深 7.5m 岸壁 3 バース 延長 710m (フェリー用) [既設] F1, 3, 4
埠頭用地 8ha (旅客施設用地、荷捌施設用地及び保管施設用地) [既設]

2 効率的な運営を特に促進する区域(PFI 事業)

港湾空間の効率的な利用の促進を図るため、以下の区域において民間企業の経営能力を活用できるように措置することを計画する。

港地区(中央埠頭)

埠頭用地 1ha (旅客施設用地)

3 臨海部物流拠点の形成を図る区域

産業構造の変化、港湾物流の高度化・多様化に対応した国際物流拠点を形成するため、以下の区域において、臨海部物流拠点の形成を図るように措置することを計画する。

夢洲地区

国際海上コンテナ輸送に係る貨物の輸送、保管、荷さばき、流通加工等に係る業務を行う施設を集積し、埠頭と一体的に、埠頭の機能の一層の強化を図る区域を夢洲地区に配置する。

水深 15～16m 岸壁 3 バース 延長 1,350m (コンテナ船用)

[既設] C10～12

埠頭用地 74ha (荷捌施設用地及び保管施設用地)

(うち 57ha 既設、11ha 工事中)

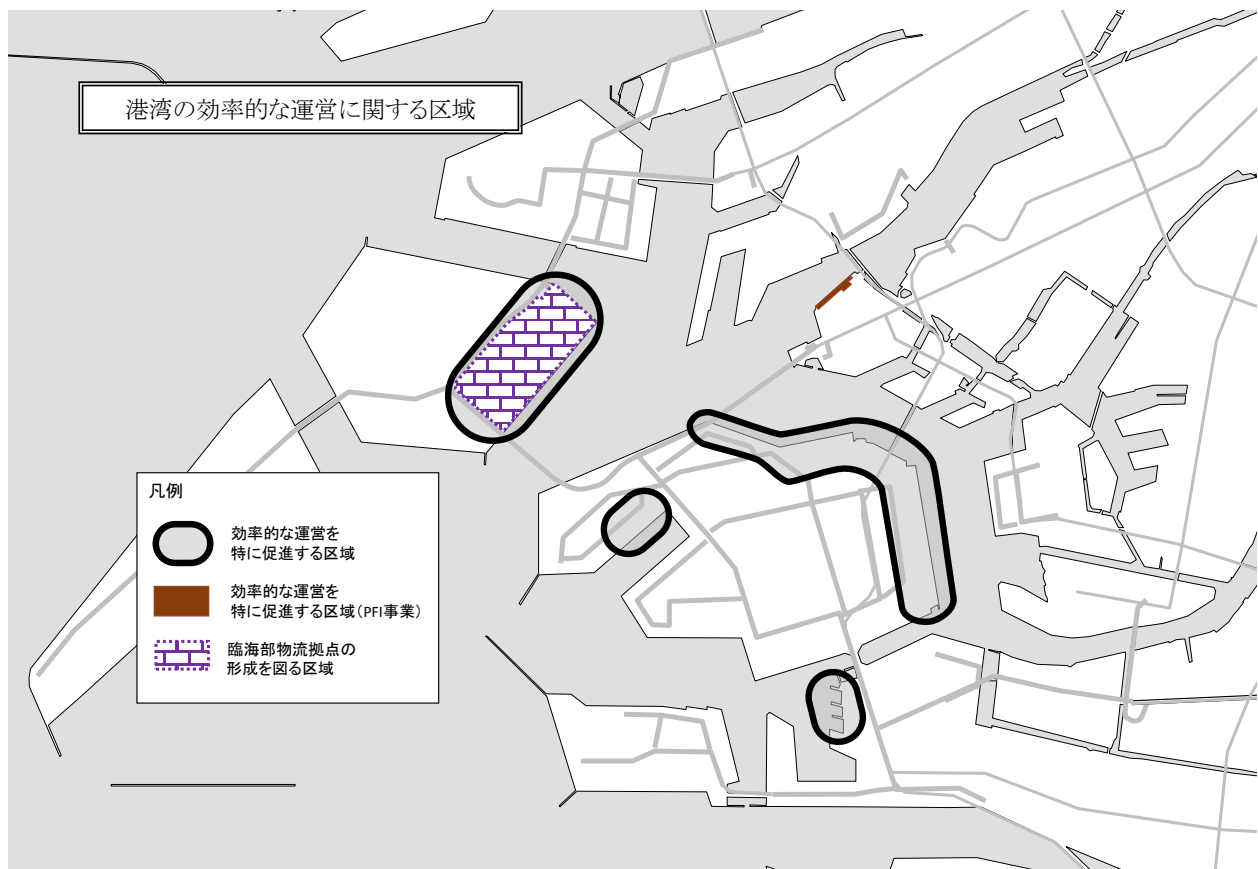
[既設の変更計画]

港湾関連用地 12ha

[既設の変更計画]

交通機能用地 4ha (うち 4ha 工事中)

[既設の変更計画]



図VI-1-1 港湾の効率的な運営に関する区域